

別紙

宗像市国土強靱化地域計画 令和5年度年次計画（関連個別事業）

～24の「起きてはならない最悪の事態」ごとの脆弱性の分析・評価、課題の検討と推進方針等～

設定した24の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」（以下、「リスクシナリオ」とする。）ごとに、関連する現行の取組を調査し、その「取組状況（令和4年度時点）」、「令和5年度の実施予定事業・目標等」、本計画の終期である「令和6年度末に目標とする状態、数値等」を整理した。令和5年度の実施予定事業については、宗像市総合計画の実施計画に位置付けた事業を行うものとする。

現状の数値データなどを参考に、できる限り具体的な取組内容や数値目標などを「KPI（重要業績指標）」として設定した。なお、本編に掲載する目標は、今後の事業量等を確定的に積み上げたものではなく、取組の推進に係る努力目標であり、計画策定後においても、状況変化等に対応して、適切な目標値の見直しや新たな設定を行う。また、計画の実効性を確保し、国土強靱化を着実に進めていくために、実施事業等について、毎年度、進捗管理を行っていくものとする。

設定したリスクシナリオごとの推進方針等の一覧を1ページから3ページに、脆弱性の分析・評価、課題の検討と施策の推進方針等を4ページから40ページに示す。

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	推進方針等	KPI事業	ページ	所管課等
1 直接死を最大限防ぐ。	1-1 地震に起因する建物・交通施設の大規模な倒壊・火災等による多数の死傷者の発生	①住宅の耐震化及び危険なブロック塀等の撤去の促進	★	4	建築課
		②老朽化が進んでいる市営住宅の改修、建替えの促進		4	建築課
		③学校施設の改修・修繕等の推進		5	学校管理課、学校整備プロジェクト室
		④管理不全な空き家の適正管理の促進	★	5	都市再生課
		⑤社会福祉施設や児童福祉施設等の倒壊・火災等を防ぐため、施設の改修・修繕、耐震化の推進		5	子ども育成課他
	1-2 津波・高潮による多数の死傷者の発生	①防災講座、防災マップを活用した避難経路の確認等の推進	★	6	危機管理課
		②防災行政無線（沿岸部スピーカー）の適正管理の推進	★	6	危機管理課
	1-3 河川氾濫等に起因する浸水による多数の死傷者の発生	①幹線道路の通行を確保するための適切な維持管理	★	7	維持管理課
		②氾濫の可能性がある市管理河川の改修の推進	★	7	維持管理課
		③県管理河川の堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築などの治水事業の推進		7	福岡県北九州県土整備事務所
		④県との連携による樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理・整備		8	福岡県北九州県土整備事務所、下水道課、都市計画課
		⑤津波や高潮による被害の軽減を図るための海岸堤防の整備や維持補修等の推進		8	福岡県北九州県土整備事務所
		⑥ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理		8	下水道課
		⑦用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策の推進	★	9	農業振興課
		⑧自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進	★	9	危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課
		⑨主要箇所の浸水状況が把握できる監視カメラの設置	★	9	危機管理課
		⑩洪水の危険性が高まる出水期前の水防訓練の実施	★	9	危機管理課
	1-4 土砂災害による多数の死傷者の発生	①急傾斜地の対策と維持管理の推進	★	10	維持管理課
		②治山施設、森林及び林道の整備の推進		10	農業振興課
		③砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域の周知、維持補修等の促進	★	10	福岡県北九州県土整備事務所
		④自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進	★	10	危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課
	1-5 情報伝達の不備や防災リテラシー教育の不足、深刻な交通渋滞等に起因する避難の遅れによる多数の死傷者の発生	①様々な種類の災害を想定した避難訓練の推進		11	教育政策課
		②自ら安全確保ができるようになるための防災教育の推進		11	教育政策課
		③保護者への引渡訓練の定期的な実施、下校ルートの確認等		11	教育政策課
		④地域や関係者による避難支援体制の構築等に向けた啓発		12	高齢者支援課
		⑤防災をテーマとした障害者自立支援協議会の会議や研修会の開催		12	福祉政策課
		⑥観光施設や観光パンフレット等への避難関連情報の掲載等		12	産業政策課
		⑦外国人向けの防災マップの配布、防災知識啓発講座の実施		13	危機管理課
		⑧市職員に対する定期的な防災研修の実施	★	13	危機管理課、関連：人事課
		⑨平常時からの関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携		13	都市再生課、元気な島づくり課
		⑩市内全域を対象とした避難訓練の実施	★	14	危機管理課
		⑪避難行動要支援者事業等の啓発	★	14	危機管理課
		⑫危険区域内の要配慮者施設の避難計画策定の促進	★	14	危機管理課
⑬緊急情報伝達システムからの災害情報配信		★	14	危機管理課	

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	推進方針等	KPI事業	ページ	所管課等	
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。	2-1 被災地における水・食料・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギーの供給の長期停止	①道路施設や橋梁施設の点検調査・補修の推進	★	15	維持管理課、施設整備課	
		②水道施設の点検・補修の推進		15	宗像地区事務組合	
		③電柱倒壊の防止を目的とした無電柱化推進		15	福岡県北九州県土整備事務所	
		④非常用食料などの防災倉庫備蓄品の入替整備	★	16	危機管理課	
		⑤民間業者との物資供給の協定締結の推進	★	16	危機管理課	
		⑥受援計画対応のための市職員防災訓練等の実施	★	16	危機管理課	
	2-2 多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生	①関係機関等との連携による交通手段の確保			17	元気な島づくり課
		②自主防災組織の活動促進、防災リーダーの確保・育成	★	17	危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課	
	2-3 警察、消防等の被災による救助・救急活動の停滞	①監視カメラの設置による渋滞情報や被害状況の把握等	★	18	危機管理課	
		②消防団員の確保、消防団協力事業所の啓発	★	18	危機管理課	
		③消防団格納庫の耐震化、車両整備の推進	★	18	危機管理課	
		④自主防災組織、警察・消防等との連携訓練の実施	★	19	危機管理課	
		⑤派遣医療チームの受入体制の整備		19	健康課、危機管理課	
	2-4 大量かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱	①帰宅困難者への一時避難所の提供	★	19	危機管理課	
	2-5 被災地における医療機能の麻痺	①応急医療を行うための関係機関との連携の強化			20	健康課
		②避難者の健康管理を行うための体制の整備			20	健康課
		③製薬会社等との協定締結の推進	★	20	危機管理課	
		④ドクターヘリ等による広域移送体制の整備			20	元気な島づくり課、危機管理課
	2-6 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	①県との連携強化、平常時からの感染症予防対策の推進			21	健康課
		②平常時からの広報等を通じた予防接種の啓発			21	健康課、子ども家庭センター
		③体調不良者専用の避難所開設、集団感染の予防	★	21	危機管理課	
		④自主防災組織への自主訓練の実施	★	22	危機管理課	
		⑤県との連携の強化			22	健康課、危機管理課
	2-7 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	①避難所となっている公共施設の環境の整備			23	財政課、危機管理課
		②保健師による巡回体制構築、健康状態の把握			23	健康課
		③要配慮者の専用ブースの設置、状況に応じた対応			23	危機管理課
		④民間企業の福祉避難所指定の推進	★	24	危機管理課	
⑤災害関連死を防ぐための避難所内の衛生管理の推進		★	24	危機管理課		
3 必要不可欠な行政機能を確保する。	3-1 行政機関の職員・施設の被災、関係機関間の連携・支援体制の不備による行政機能の大幅な低下	①市役所本庁舎やその他の公共施設の長寿命化の推進			25	財政課 他
		②非常用電源の整備、バックアップ体制の強化			25	財政課、危機管理課
		③災害時の迅速な罹災証明の発行体制づくり			25	税務課
		④通信回線の冗長化、予備機の確保			26	デジタル推進課
		⑤業務継続計画に基づく行政機能の確保			26	危機管理課
		⑥受援計画、応援協定に基づく受援体制の整備	★	26	危機管理課	
		⑦広域応援協定の締結の推進			27	危機管理課
		⑧被災者支援システムの導入	★	27	危機管理課	

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	推進方針等	KPI事業	ページ	所管課等
4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する。	4-1 情報通信・放送ネットワークの麻痺・長期停止等による災害・防災情報の伝達不能	①Lアラート、緊急情報伝達システム等からの発信	★	28	危機管理課
		②広報車やSNS、LINE等を活用した情報伝達の多重化		28	秘書政策課、危機管理課
		③災害版GISを活用した情報取得の仕組みの整備	★	28	危機管理課
		④避難所のWi-Fi環境の整備		28	デジタル推進課、危機管理課
5 ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる。	5-1 上水道等の長期にわたる供給停止	①北九州市上下水道局との協定に基づく、速やかな水道施設の復旧		29	宗像地区事務組合
		②水道施設の耐震化の推進		29	宗像地区事務組合
		③福岡県内の水道企業団等との連携の強化		29	宗像地区事務組合
	5-2 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	①下水道施設の計画的な改修	★	30	下水道課
		②下水道BCP改定の適宜実施		30	下水道課
		③関係機関との連携協定の締結の推進	★	30	危機管理課
	5-3 交通インフラの長期にわたる機能停止	①道路や橋梁等、既存施設の点検調査の推進	★	31	維持管理課、施設整備課
		②急傾斜地の崩壊や落石を防止するための整備の推進		31	維持管理課、福岡県北九州市土整備事務所
		③代替交通手段にかかる関係機関との連携の推進		31	都市再生課
		④緊急輸送道路の改良整備の推進		32	福岡県北九州市土整備事務所
		⑤緊急輸送道路等の無電柱化の取組の推進		32	福岡県北九州市土整備事務所
		⑥協定締結による一時滞在施設の活用等の推進	★	32	危機管理課
	6 経済活動を機能不全に陥らせない。	6-1 サプライチェーンの寸断による経済活動の機能不全	①業務継続計画策定の必要性や策定方法等の周知等		33
②電力会社等との連携協定の締結の推進			★	33	危機管理課
6-2 食料等の安定供給の停滞		①生鮮品等の確保のための連携の強化		34	農業振興課、水産振興課 他
		②漁港の耐震化の推進、機能保全対策	★	34	水産振興課
		③水産物関連施設の整備、業務継続計画の策定の推進	★	34	水産振興課
	④市備蓄物資の確保、協定締結の推進	★	34	危機管理課	
7 制御不能な二次災害を発生させない。	7-1 ため池等の損壊・機能不全や堆積した土砂等の流出による多数の死傷者の発生	①ため池の計画的な改修、ため池ハザードマップの公表	★	35	農業振興課
		②ハザードマップを活用した避難訓練等の実施	★	35	危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課
8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。	8-1 災害廃棄物の処理停滞による復旧・復興の大幅な遅れ	①災害廃棄物処理計画に基づく体制作りの推進	★	36	環境課
		②近隣自治体や廃棄物関係団体との協定の締結等	★	36	危機管理課、関連：環境課
	8-2 復旧を支える人材等の不足、復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態	①職員の防災知識等を高めるための研修の実施	★	37	危機管理課、関連：人事課
		②防災対策に関するボランティアの養成等	★	37	コミュニティ協働推進課、社会福祉協議会
		③防災士を活用した地域の防災体制づくりの推進	★	37	危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課
		④応援協定の締結推進、広域的な応援体制の構築	★	38	危機管理課
		⑤消防団員の確保、消防団員の訓練等の実施	★	38	危機管理課
	8-3 貴重な文化財や環境的資産の喪失、コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失	①更なる地域コミュニティ活動の促進	★	39	コミュニティ協働推進課
		②文化財における防災措置の強化等	★	39	世界遺産課
		③必要な措置が即座にとれる体制づくりの推進	★	40	世界遺産課
④文化財防衛訓練の実施		★	40	危機管理課	
8-4 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態	①庁内関連部署による具体的な行動計画の決定		40	建築課、関連：危機管理課 他	

1 直接死を最大限防ぐ

1-1 地震に起因する建物・交通施設の大規模な倒壊・火災等による多数の死傷者の発生 (1 / 2)

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①住宅の耐震化及び危険なブロック塀等の撤去の促進【建築課】 KPI事業

●地震などの災害時に木造戸建て住宅やブロック塀などの倒壊による被害を防止するため、住宅の耐震化及び危険なブロック塀等の撤去の必要性と支援制度の周知を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ブロック塀等撤去費補助金申請数：19件
- ・木造住宅耐震改修費補助金申請数：2件
- ・広報紙、市HP、市公式LINEで制度周知を実施。
- ・住マイむなかたフェアに併せて関連セミナーを実施。

②老朽化が進んでいる市営住宅の改修、建替えの促進【建築課】

●耐震性の低い市営住宅の改修、建替えを行うことで、市営住宅の耐震化率を計画的に向上させる必要がある。

令和4年度の状況等

- ・外壁外改修工事設計（後曲団地）
- ・外壁外改修工事監理（野添団地）
- ・外壁外改修工事（野添団地）

③学校施設の改修・修繕等の推進【学校管理課、学校整備プロジェクト室】

●学校施設の安全性を確保するため、適宜、施設の改修や修繕等を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・大規模改造工事（赤間小学校）
- ・大規模改造工事实施設計（自由ヶ丘南小学校）
- ・急傾斜地崩壊対策工事（地島小学校）
- ・体育館空調設備整備実施施設設計（城山中学校）
- ・大島学園ランチルームトイレ改修（大島学園）
- ・新校舎建築工事（城山中学校）

リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①住宅の耐震化及び危険なブロック塀等の撤去の促進【建築課】 KPI事業

●支援制度の周知について、市広報紙への掲載に加え、SNSを活用した情報発信や説明会の実施など、効果的な周知を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ブロック塀等撤去費補助金申請数：20件
- ・木造住宅耐震改修費補助金申請数：4件
- ・広報紙、市HP、市公式LINEにて制度の周知。
- ・関連セミナーの開催。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ブロック塀等撤去費補助金申請数：20件
- ・木造住宅耐震改修費補助金申請数：4件
- ・広報紙、市HP、市公式LINEにて制度の周知。
- ・関連セミナーの開催。

②老朽化が進んでいる市営住宅の改修、建替えの促進【建築課】

●アセットマネジメント計画に基づき、老朽化が進んでいる市営住宅の改修、建替えを促進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・外壁外改修工事監理（後曲団地）
- ・外壁外改修工事（後曲団地）

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・外壁外改修工事設計（谷団地）

リスクへの対応方策の検討（推進方針）

③学校施設の改修・修繕等の推進【学校管理課、学校整備プロジェクト室】

●アセットマネジメント計画に基づき、学校施設の改修や修繕等を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・大規模改造工事（赤間小学校）
- ・大規模改造工事（自由ヶ丘南小学校）
- ・新校舎建築工事（城山中学校）
- ・体育館空調設備整備（城山中学校）
- ・体育館空調設備整備実施設計（20校）

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・赤間小学校大規模改造工事（R4～R8）
- ・自由ヶ丘南小学校大規模改造工事（R5～R9）
- ・体育館空調設備整備（20校）
- ・旧校舎解体工事、外構整備工事（城山中学校）



脆弱性の分析・評価、課題の検討

④管理不全な空き家の適正管理の促進。【都市再生課】 KPI事業

●建物の倒壊等を防ぐため、管理不全な空き家所有者に適正管理を促す必要がある。

令和4年度の状況等

- ・管理不全な空家等の所有者に適正管理を促す文書を送付。
- ・老朽空き家等除却促進事業補助金による、危険な空家等の解体の促進。(R5.1.16時点で計14件の申請)
- ・空家等対策の推進に関する条例を制定(令和5年4月1日より施行)。
- ・空家等対策計画の策定に向け、市全域での空家等の実態調査を実施。



リスクへの対応方策の検討(推進方針)

④管理不全な空き家の適正管理の促進。【都市再生課】 KPI事業

●広報や啓発文書により、管理不全な空き家所有者に適正管理を促進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・老朽空き家等除却促進事業補助金による、危険な空家等の解体の促進。(計20件)
- ・空家等対策の推進に関する条例、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく措置の実施。
- ・空家等対策計画の策定。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・市民等の生命、身体又は財産が保護され、その生活環境が保全されている状態。

⑤社会福祉施設や児童福祉施設等の倒壊・火災等を防ぐため、施設の改修・修繕、耐震化の推進。【子ども育成課 他】

●社会福祉施設や児童福祉施設等の倒壊を防ぐため、施設の改修や修繕、耐震化を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・保育所：耐震基準が適合していない施設事業者と協議を行ったが、整わなかったため見送った。
- ・学童保育所：令和3年度に引き続き、法定耐用年数を超過した4施設について耐震診断を実施。
- ・放課後等デイサービス施設は平成27年建築であり、耐震性、耐火性等についての問題はない。



⑤社会福祉施設や児童福祉施設等の倒壊・火災等を防ぐため、施設の改修・修繕、耐震化の推進。【子ども育成課 他】

●社会福祉施設や児童福祉施設等の倒壊・火災等を防ぐため、施設の改修や修繕、耐震化を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・保育所：事業者との協議に応じて予算計上を検討する。事業者の改修時期の見込みが立たない場合、令和6年度に耐震診断を実施するよう予算計上する。
- ・学童保育所：法定耐用年数を超過している1施設の耐震診断を実施する。
- ・放課後等デイサービス施設の定期的な保守点検を行い、耐震性、耐火性等における問題が発生した場合は速やかに改善措置を講じる。
- ・大島診療所、大島福祉センターは、課題が生じた場合は都度迅速に対応する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・保育所：改修又は耐震診断を実施する。
- ・学童保育所：耐震診断結果を踏まえて、施設の改修・更新時期を検討し、宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画の見直しに反映させる。
- ・放課後等デイサービス施設、大島診療所、大島福祉センターの定期的な保守点検が行われており、耐震性、耐火性等における問題が発生した場合は速やかに改善措置が講じられている。

1 - 2 津波・高潮による多数の死傷者の発生

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①防災講座、防災マップを活用した避難経路の確認等の推進【危機管理課】 KPI事業

●沿岸部の住民が津波や高潮から迅速に避難できるよう、津波対応訓練や防災マップを活用した避難経路の確認等を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・自治会を対象とした防災講座の実施及び自主防災会議参加による啓発（18件）。
- ・吉武地区防災計画策定に伴い、防災まち歩きを行い避難経路の確認を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①防災講座、防災マップを活用した避難経路の確認等の推進【危機管理課】 KPI事業

●防災講座等を通じて、防災マップを活用した避難経路の確認等を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、自治会を対象とした防災講座を実施する。
- ・防災マップの改定及び印刷を行うとともにデジタル技術を活用した3D防災マップも作製し、市HP等に公開する。
- ・自治会毎の地区防災計画策定を進める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・全自治会（143自治会）で防災講座を実施する。
- ・4地区のコミュニティ運営協議会で地区防災計画を策定。

②防災行政無線（沿岸部スピーカー）の適正管理の推進【危機管理課】 KPI事業

●津波が発生した際、迅速な避難が促せるよう、同報系防災行政無線（沿岸部スピーカー）の適正管理を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・防災訓練による運用に加え、コミュニティによる平常時の放送等により、定期的な運用を実施。



②防災行政無線（沿岸部スピーカー）の適正管理の推進【危機管理課】 KPI事業

●総合防災訓練時に試験運用を行う等、平常時から同報系防災行政無線（沿岸部スピーカー）の適正管理を進め有事の際に備える。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・防災行政無線の老朽化及び現状の課題点（災害発生時音声聞き取りにくい等）を踏まえ、新形態への移行を検討する。
- ・平常時から地域の催事案内に利用する等、試験放送を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・防災行政無線の新形態への移行を進める。
- ・年1回以上の試験運用を実施する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① 幹線道路の通行を確保するための適切な維持管理【維持管理課】 KPI事業

● 幹線道路の通行を確保するため、適切な維持管理を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・ 舗装長寿命化計画に沿って幹線道路1.7kmの舗装を更新した。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① 幹線道路の通行を確保するための適切な維持管理【維持管理課】 KPI事業

● 幹線道路の通行を確保するため、適切な維持管理を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 道路等修繕（150箇所）、道路側溝清掃委託（20箇所）、舗装整備、側溝整備、局所改良 他

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 舗装長寿命化計画に沿って効果的な維持工事等を行い、適切な維持管理を進める。

② 氾濫の可能性がある市管理河川の改修の推進【維持管理課】 KPI事業

● 氾濫の可能性がある市管理河川の改修を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・ 雨期前に河川の点検を実施するとともに、堆積土砂の撤去や雑木の撤去などの維持工事を12件、河川改修工事を6件実施した。



② 氾濫の可能性がある市管理河川の改修の推進【維持管理課】 KPI事業

● 氾濫の可能性がある市管理河川の改修を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 測量設計3件、河川改修工事4件、浚渫工事10件

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 市管理河川の点検や浚渫等を適時に行い、氾濫の発生を未然に防ぐ体制を整える。

③ 県管理河川の堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築などの治水事業の推進【福岡県北九州県土整備事務所】

● 釣川の水位を低下させるため、堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築といった治水事業を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・ 堤防嵩上げ対策の設計や老朽化した護岸の補修工事を実施。



③ 県管理河川の堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築などの治水事業の推進【福岡県北九州県土整備事務所】

● 県管理河川について、堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築といった治水事業を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 堤防嵩上げ工事、護岸補修工事

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 維持管理工事を通じ、適切な維持管理に努める。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④ 県との連携による樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理・整備
【福岡県北九州県土整備事務所、下水道課】

● 浸水想定区域の中でも、特に市街地での浸水による被害が想定されることから、樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理や整備を図るとともに、県が実施する河川改修事業との連携が必要である。

令和4年度の状況等

【福岡県北九州県土整備事務所】

・ 河川改修工事の実施（山田川）。

【下水道課】

・ 東郷第2雨水幹線樋門改築。
・ 雨水幹線や調整池等の浚渫・雑木の伐採等。
・ 排水ポンプ施設の維持管理。

【都市計画課】

・ 「雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～」に係る調査検討。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

④ 県との連携による樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理・整備
【福岡県北九州県土整備事務所、下水道課】

● 県が実施する河川改修事業と連携し、市街地での浸水被害を抑制するため、樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理や整備を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

【福岡県北九州県土整備事務所】

・ 河川改修工事（山田川）

【下水道課】

・ 雨水幹線や調整池等の浚渫・雑木の伐採等。
・ 排水ポンプ施設の維持管理。
・ 雨水に関する事業計画の一部変更。

【都市計画課】

・ 「雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～」策定

令和6年度末に目標とする状態、数値等

【福岡県北九州県土整備事務所】

・ 河川改修工事の実施（山田川）。

【下水道課】

・ 施設維持管理の継続。
・ 浸水対策の事業計画及び事業実施。
（令和6年度～）
・ 赤間（雨水）幹線の一部改築。

⑤ 津波や高潮被害の軽減を図るための海岸堤防の整備や維持補修等の推進
【福岡県北九州県土整備事務所】

● 津波や高潮による被害の軽減を図るため、海岸堤防の整備や維持補修等を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・ 海岸堤防に異常が無いが随時巡視を行い確認した。



⑤ 津波や高潮被害の軽減を図るための海岸堤防の整備や維持補修等の推進
【福岡県北九州県土整備事務所】

● 津波や高潮による被害の軽減を図るため、海岸堤防の整備や維持補修等を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 引続き海岸堤防に異常がないか随時巡視を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 引続き海岸堤防に異常がないか随時巡視を行う。

⑥ ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理 【下水道課】

● 浸水被害の軽減を図るため、ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・ 雨水幹線や調整池等の浚渫（3件）。
・ 雑木の伐採等（11件）。
・ 排水ポンプ施設の維持管理。



⑥ ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理 【下水道課】

● ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理に努める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 雨水幹線や調整池等の浚渫、雑木の伐採等。
・ 排水ポンプ施設の維持管理。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 施設維持管理の継続。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

⑦用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策の推進 【農業振興課】 KPI事業

●浸水被害の軽減を図るため、用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・田んぼダム整備（6ha）。
- ・用水路、井堰の改修（用水路・井堰計37箇所）。

⑧自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進 【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●浸水時の迅速な避難に繋げるため、自主防災組織と連携した避難体制の構築や防災士を活用した地域防災リーダー確保育成等を推進する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・防災士の養成等を目的に、NHKと合同で防災トークショーを実施。
- ・防災士や防災リーダーと連携した地区防災計画の策定に着手。

⑨主要箇所の浸水状況が把握できる監視カメラの設置 【危機管理課】 KPI事業

●市内の浸水状況を安全な場所からリアルタイムで市民が確認できるよう、市内の主要箇所について、浸水状況が把握できる監視カメラを設置し、インターネットを通じて市民へ公開する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・市ホームページを通じて監視カメラの情報展開を実施。
- ・市内浸水箇所の早期把握を図るため、浸水センサーを5箇所設置した。

⑩洪水の危険性が高まる出水期前の水防訓練の実施 【危機管理課】 KPI事業

●洪水の危険性が高まる出水期前に水防訓練を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・出水期前（5月28日）に水害対応訓練を実施。

リスクへの対応方策の検討（推進方針）

⑦用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策の推進 【農業振興課】 KPI事業

●用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・田んぼダム整備（6ha）。
- ・陵巖寺井堰・田久井堰の長寿命化農林協議、施設改修測量設計（2箇所）、農業用施設改良（水路及び井堰）、地盤沈下農地対策工事（4件）、井堰改修工事（朝町地区他）

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・田んぼダムの拡充。
- ・陵巖寺井堰・田久井堰長寿命化実施計画発注策定、農業用施設改良（水路及び井堰）、地盤沈下農地対策工事（4件）、井堰測量設計、井堰改修工事

⑧自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進 【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●自主防災組織と連携した避難体制の構築や防災リーダーの確保育成を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、防災士フォローアップ及び防災リーダー講座を実施するとともに、地区防災計画の策定を進める。地域が主催する防災訓練等に参加し、避難体制構築の支援を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・4地区のコミュニティ運営協議会で地区防災計画を策定。
- ・年に1回、防災リーダー研修の実施。
- ・12地区のコミュニティ運営協議会で防災訓練を支援する。

⑨主要箇所の浸水状況が把握できる監視カメラの設置 【危機管理課】 KPI事業

●市内の主要箇所について、浸水状況が把握できる監視カメラの設置を行い、インターネットを通じた市民への公開を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、水位監視カメラの運用を実施する。加えて浸水センサーを5箇所設置し、市内の浸水箇所について市民への情報展開を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・浸水状況を防災情報ダッシュボードに反映させ、市民に情報提供する。
- ・浸水センサーを用いたシステムの周知を図り、市職員や自主防災組織等の活用者数を増やす。

⑩洪水の危険性が高まる出水期前の水防訓練の実施 【危機管理課】 KPI事業

●洪水の危険性が高まる出水期前に水防訓練を実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、関係機関と連携して水害対応訓練を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年に1回、水害対応訓練を実施。



1-4 土砂災害による多数の死傷者の発生

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①急傾斜地の対策と維持管理の推進【維持管理課】 KPI事業

●土砂災害対策の一環として、急傾斜地の対策や維持管理を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・急傾斜地の草刈りを実施した（9箇所）。
- ・多禮柚ノ木地区急傾斜地崩壊対策測量調査設計を実施した。

②治山施設、森林及び林道の整備の推進【農業振興課】

●豪雨や地震による山地災害の抑制として、治山施設の整備や森林の整備、林道の整備を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・治山事業（福岡農林事務所施工1箇所）
- ・荒廃森林整備事業（強度間伐18ha）

③砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域の周知、維持補修等の促進【福岡県北九州県土整備事務所】 KPI事業

●土砂災害対策の一環として、砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域の周知を図るとともに、対策及び維持補修を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域について福岡県砂防課HPで公表。
- ・砂防事業（1箇所）
- ・急傾斜地崩壊対策事業（1箇所）
- ・急傾斜地の伐採・除草（1箇所）

④自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●土砂災害時の迅速な避難に繋げるため、自主防災組織と連携した避難体制の構築や防災士を活用した地域防災リーダー確保育成等を推進する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・防災士の養成（宗像市在住防災士約430人）。
- ・地域における防災力の向上を目的として、NHK福岡放送局と連携し、防災トークショーを実施。
- ・防災訓練等を通じて自主防災組織との連携を図った。
- ・防災士や防災リーダーと連携した地区防災計画の策定に着手。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①急傾斜地の対策と維持管理の推進【維持管理課】 KPI事業

●土砂災害対策の一環として、急傾斜地の対策や維持管理を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・急傾斜地崩壊対策事業、急傾斜地維持管理業務実施

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・急傾斜地の点検や維持補修を適時に行う。また、多禮地区土砂災害警戒区域を主として危険箇所の対策工事(県単補助事業)を進める。

②治山施設、森林及び林道の整備の推進【農業振興課】

●治山施設、森林及び林道の整備を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・治山事業の福岡県への要望継続、測量委託（随時）
林道災害復旧工事（随時）、荒廃森林整備事業（強度間伐15ha）

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・治山事業の福岡県への要望継続、測量委託（随時）
林道災害復旧工事（随時）、荒廃森林整備事業（強度間伐18ha）

③砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域の周知、維持補修等の促進【福岡県北九州県土整備事務所】 KPI事業

●土砂災害対策の一環として、砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域の周知を図り、維持補修等を促進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・砂防事業（1箇所）
- ・維持工事の実施。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・土砂災害対策を継続して行うとともに維持工事等を通じ、適切な維持管理に努める。

④自主防災組織と連携した避難体制の構築、防災リーダーの確保育成の推進【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●土砂災害からの迅速な避難に繋げるため、自主防災組織と連携した避難体制の構築や防災リーダーの確保育成を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、防災士フォローアップ及び防災リーダー養成講座を実施。
- ・自主防災組織を対象とした各種研修の実施や地区防災計画の策定を進める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年に1回、防災士フォローアップ及び防災リーダー養成講座の実施。
- ・コミュニティ運営協議会4地区で地区防災計画を策定。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①様々な種類の災害を想定した避難訓練の推進【教育政策課】

●災害から子供たちの命を守るため、様々な種類の災害を想定した避難訓練を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・学期ごとに、各校において避難訓練を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①様々な種類の災害を想定した避難訓練の推進【教育政策課】

●様々な種類の災害を想定した避難訓練を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・学期ごとに、各学校において避難訓練を実施。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続した訓練を行うことで、児童生徒の防災意識の向上を図る。

②自ら安全確保ができるようになるための防災教育の推進【教育政策課】

●災害が発生した際の危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようになるための防災教育を推進する必要がある。

令和4年度の状況等

・年間を通し学年に応じて計画的に防災教育を実施。



②自ら安全確保ができるようになるための防災教育の推進【教育政策課】

●災害が発生した際の危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようになるための防災教育を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・年間を通し学年に応じて計画的に防災教育を実施。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続した防災教育を行うことで、児童生徒の防災意識の向上を図る。

③保護者への引渡訓練の定期的な実施、下校ルートの確認等【教育政策課】

●災害発生時に保護者の元に子どもたちを安全に返すことができるように、災害発生を想定した保護者への引き渡し訓練の定期的な実施や災害発生時の危険想定箇所、下校ルートの確認などを進める必要がある。

令和4年度の状況等

・9月の市総合防災訓練に合わせて各校において避難訓練を実施。小学生は、保護者への引き渡し訓練も実施した。
 ・学校が保護者や地域からの意見を集約し、提出された通学路の危険箇所をもとに、関係機関と対応を協議した。学校に対して、対応が可能な箇所を報告するとともに、道路等の形状上、対応ができない箇所については、学校に対して注意喚起などの対応を求めた。



③保護者への引渡訓練の定期的な実施、下校ルートの確認等【教育政策課】

●災害発生を想定した保護者への引き渡し訓練の定期的な実施や災害発生時の危険想定箇所、下校ルートの確認等を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・9月に実施される市総合防災訓練に合わせた避難訓練において、小学生については保護者への引き渡し訓練も実施する。
 ・学校に保護者や地域からの意見を含めた通学路の危険箇所の報告を依頼し、その報告をもとに関係機関と対応を協議し、その内容を保護者や地域とも共有する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続して訓練を行うことで、災害が発生した際に、確実に児童生徒を保護者に引き渡すことができる状態を目指す。
 ・毎年、学校に対して通学路の危険箇所の確認及び報告を依頼し、対応が必要と報告された通学路の危険箇所について、関係機関と協議し、通学路の安全確保を図り、その内容を保護者や地域とも共有する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④地域や関係者による避難支援体制の構築等に向けた啓発【高齢者支援課】

●高齢者の迅速な避難に繋げるため、地域や関係者による避難支援体制の構築等に向けた啓発を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・日常生活圏地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員及び地域ケア会議助言者を対象に危機管理課職員を講師として「日常の活動の中に防災の視点」ならびに「要支援者個別避難計画作成モデル事業」をテーマに6月から7月にかけて新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からオンデマンド方式で研修会を実施した。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

④地域や関係者による避難支援体制の構築等に向けた啓発【高齢者支援課】

●地域や関係者による避難支援体制の構築等に向けた啓発を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・令和4年度に実施した研修会と同等の研修会を実施する。
「宗像市避難行動要支援者個別避難計画作成推進庁内連携会議」の一構成機関として取り組む。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・令和4年度に実施した研修会と同等の研修会を実施する。
「宗像市避難行動要支援者個別避難計画作成推進庁内連携会議」の一構成機関として取り組む。

⑤防災をテーマとした障害者自立支援協議会の会議や研修会の開催【福祉政策課】

●障害福祉サービス事業所等の障がい福祉関係機関が、防災について正しい知識を持ち、適切な対応ができるよう、障害者自立支援協議会が開催する会議や研修会等において、防災に関するテーマを取り上げる必要がある。

令和4年度の状況等

・本年度においては、障害者自立支援協議会が開催する会議や研修会等において、防災に関するテーマを取り上げることができなかった。



⑤防災をテーマとした障害者自立支援協議会の会議や研修会の開催【福祉政策課】

●障害福祉サービス事業所等の障がい福祉関係機関が、防災について正しい知識を持ち、適切な対応ができるよう、障害者自立支援協議会が開催する会議や研修会等において、防災に関するテーマを取り上げる。

令和5年度実施予定事業・目標等

・障害者自立支援協議会が開催する会議や研修会等において、防災に関するテーマを取り上げる。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・障害福祉サービス事業所等の障がい福祉関係機関が、防災について正しい知識を持ち、適切な対応ができるようになる。

⑥観光施設や観光パンフレット等への避難関連情報の掲載等【産業政策課】

●外国人観光客に対して、防災情報を伝達するため、市内観光施設に避難所の英語表記の看板設置や観光パンフレット等に避難情報等の掲載を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・観光案内所には、避難所の英語表記の看板等はなく、観光パンフレット等にも避難情報までは掲載していない。



⑥観光施設や観光パンフレット等への避難関連情報の掲載等【産業政策課】

●外国人観光客への防災情報伝達のため、市内観光施設に避難所の英語表記の看板設置や観光パンフレット等に避難情報等の掲載を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・災害時、観光案内所において外国人観光客に対して避難所の案内ができるツールの制作を検討する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・災害時、観光案内所において外国人観光客に対して避難所の案内が的確にできる体制が整っている。
・避難情報等が多言語化されたホームページが完成し、そのQRコード等を観光パンフレットに掲載している。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

⑦外国人向けの防災マップの配布、防災知識啓発講座の実施【危機管理課】

●留学生等の外国人居住者に対して、宗像市の防災情報を理解してもらうため、外国人向けの防災マップ（平成29年度作成）の配布、防災知識の啓発を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・外国語防災マップの改訂及び配布方法、周知方法の協議。
- ・県の防災メール・まもるくんの多言語配信とアプリ配信開始の周知実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

⑦外国人向けの防災マップの配布、防災知識啓発講座の実施【危機管理課】

●留学生等の外国人居住者に対して、宗像市の防災情報を理解してもらうため、外国人向けの防災マップ（平成29年度作成）の配布や防災知識習得のための啓発講座の実施を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・デリカフーズや日本語学校等の外国人が多く在席している団体への出前講座等での県防災メールとアプリの登録啓発を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・企業への出前講座等で県の防災メールとアプリの登録啓発を実施する。

⑧市職員に対する定期的な防災研修の実施【危機管理課、関連:人事課】 KPI事業

●緊急情報伝達システムメールへの登録を徹底した上で、災害時、市職員が行動マニュアルに従った行動がとれるよう、定期的に防災研修を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・避難所担当職員説明会を通じてシステムへの登録を啓発。
- ・総合防災訓練時に、避難所担当職員を対象とし、各避難所への参集訓練を実施。



⑧市職員に対する定期的な防災研修の実施【危機管理課、関連:人事課】 KPI事業

●災害時、市職員が行動マニュアルに従った行動がとれるよう、緊急情報伝達システムメールへの登録を徹底した上で、定期的に防災研修を実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・避難所担当職員説明会を通じてシステムへの登録を啓発する。
- ・総合防災訓練時において、避難所担当職員を対象とし、各避難所への参集訓練を実施する。
- ・緊急情報伝達システムメールを使った訓練における参集方法の検討を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年1回の防災研修と災害時、職員行動マニュアルに従った行動がとれるよう、緊急情報伝達システムメールを使った参集訓練等を実施。
- ・全職員のメール登録。

⑨平常時からの関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携【都市再生課、元気な島づくり課】

●災害時、交通機関の麻痺を最小限とするため、平常時から関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携を図る必要がある。

令和4年度の状況等

- 【都市再生課】
 - ・平常時から関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携を図り、災害時、交通機関の麻痺が最小限となるよう努めた。
- 【元気な島づくり課】
 - ・平常時から九州運輸局や福岡県と渡船運航等に関する連絡調整を行い、連携強化を図っている。
 - ・令和4年11月、九州運輸局から運輸安全マネジメント評価を受け、安全管理体制の構築及び改善に関する取り組みについて評価いただくとともに、今後の取組に関する助言をいただいた。



⑨平常時からの関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携【都市再生課、元気な島づくり課】

●災害時、交通機関の麻痺を最小限とするため、平常時から関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

- 【都市再生課】
 - ・過年度同様、災害時、交通機関の麻痺を最小限とするため、平常時から関係機関（運輸支局、西鉄バス、警察等）との連携を図る。
- 【元気な島づくり課】
 - ・前年度に引き続き、平常時から関係機関（九州運輸局、福岡県等）と渡船運航等に関する連携強化を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- 【都市再生課】
 - ・災害時、交通機関の麻痺を最小限に抑えられる状態。
- 【元気な島づくり課】
 - ・平常時から関係機関（九州運輸局、福岡県等）と渡船運航等に関する連携強化を図り、万一の事態が発生した際に、円滑かつ万全の対応や備えができるようできる限り努める。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

⑩市内全域を対象とした避難訓練の実施 【危機管理課】 KPI事業

●避難の遅れを防ぐため、毎年実施している総合防災訓練の中で市内全域を対象とした避難訓練を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・9月第2土曜日に総合防災訓練を実施。

⑪避難行動要支援者事業等の啓発 【危機管理課】 KPI事業

●避難行動要支援者の迅速な避難に繋げるため、地域や関係者による避難支援体制の構築等を推進するとともに、併せて避難行動要支援者事業の啓発を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・モデル事業として、要介護者・障がい者など災害時に特に配慮が必要かつ災害リスクの高い場所に居住する要支援者の計画を中心に地域（自治会（自主防災組織）・民生委員）、福祉専門職、市の協働で個別避難計画の作成に取り組み、7件の計画を作成した。そのほか、河東自治会と協働で8件の個別避難計画を作成した。
 ・吉武地区と岬地区の全自治会分の要支援者名簿の登録情報の確認を自治会長と民生委員と行い、名簿の更新を行った。

⑫危険区域内の要配慮者施設の避難計画策定の促進 【危機管理課】 KPI事業

●危険区域にかかっている要配慮者施設について、避難計画策定の促進を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・避難確保計画作成が必要な要配慮者利用施設に対して、計画作成の個別指導を実施（6件）。

⑬緊急情報伝達システムからの災害情報配信 【危機管理課】 KPI事業

●災害時の通行止め情報や危険情報等を緊急情報伝達システムを用いて周知することで、迅速な避難に繋げる必要がある。

令和4年度の状況等

・災害時の通行止め情報、浸水状況について、情報を一元化し、防災情報ダッシュボードへの掲載を実施。
 ・防災情報ダッシュボードに県河川カメラ情報の掲載機能を追加。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

⑩市内全域を対象とした避難訓練の実施 【危機管理課】 KPI事業

●避難の遅れを防ぐため、毎年実施している総合防災訓練の中で市内全域を対象とした避難訓練を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・引き続き、総合防災訓練を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・年1回の総合防災訓練を実施。

⑪避難行動要支援者事業等の啓発 【危機管理課】 KPI事業

●避難行動要支援者の迅速な避難に繋げるため、地域や関係者による避難支援体制の構築等を推進するとともに、併せて避難行動要支援者事業の啓発を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・災害リスクの高いところに居住し、家族等での避難が困難な要支援者の計画作成に福祉専門職、自治会長、民生委員と市の協働で取り組む（20件）。
 ・3地区で要支援者名簿の登録情報の確認を自治会長と民生委員と行い、名簿更新に取り組む。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・災害リスクの高い場所に居住していて、家族等と避難が困難な要支援者の個別避難計画作成を完了させる。
 ・要支援者名簿の内容更新手順を確立させる。

⑫危険区域内の要配慮者施設の避難計画策定の促進 【危機管理課】 KPI事業

●危険区域内の要配慮者施設について、避難計画策定を促進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・避難確保計画の作成が必要となる新規施設がないか確認を行うとともに、必要に応じて計画作成の説明会及び個別指導を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・危険区域に立地する全ての要配慮者利用施設の計画作成及び避難訓練実施。

⑬緊急情報伝達システムからの災害情報配信 【危機管理課】 KPI事業

●迅速な避難に繋げるため、災害時の通行止め情報や危険情報等の周知を図るとともに、緊急情報伝達システムからの災害情報配信を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・引き続き、情報配信を行うとともに、国や県が配信する情報も含めて情報の一元化を進める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・停電情報、気象庁予報等の防災気象情報等を防災情報ダッシュボードに一元化する。

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。

2-1 被災地における水・食料・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギーの供給の長期停止 (1 / 2)

脆弱性の分析・評価、課題の検討	
①道路施設や橋梁施設の点検調査・補修の推進【維持管理課】 KPI事業	
●災害時、輸送のための主要な路線が寸断されないよう、道路施設や橋梁施設の点検調査及び補修を行い健全度を保つ必要がある。	
令和4年度の状況等	
【維持管理課】	・幹線道路の舗装の更新や側溝等の道路施設の補修を実施。
【施設整備課】	・橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁補修設計（3橋）と橋梁補修工事（3橋）を実施。また法定点検として橋梁点検（151橋）、計画策定（1業務）を実施。



リスクへの対応方針の検討（推進方針）	
①道路施設や橋梁施設の点検調査・補修の推進【維持管理課】 KPI事業	
●災害時、輸送のための主要な路線が寸断されないよう、道路施設や橋梁施設の点検調査及び補修を推進する。	
令和5年度実施予定事業・目標等	
【維持管理課】	・道路等修繕（150箇所）、道路側溝清掃委託（20箇所）、舗装整備、側溝整備、局部改良 他
【施設整備課】	・令和4年度末に再策定する橋梁長寿命化計画に沿って効果的な補修工事等を行い、適切な維持管理を進める。
令和6年度末に目標とする状態、数値等	
【維持管理課】	・舗装長寿命化計画に沿って効果的な維持工事等を行い、適切な維持管理を進める。
【施設整備課】	・令和4年度に再策定する橋梁長寿命化計画に沿って効果的な補修工事等を行い、適切な維持管理を進める。

②水道施設の点検・補修の推進【宗像地区事務組合】	
●災害時に水道水の供給が止まらないよう、機能を維持する必要がある。	
令和4年度の状況等	
・配水池や水道管等の定期点検、漏水箇所の補修を実施。	



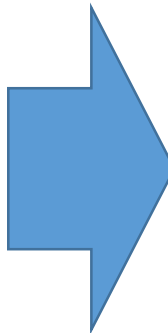
②水道施設の点検・補修の推進【宗像地区事務組合】	
●水道水の供給機能を維持するため、水道施設の点検及び補修を推進する。	
令和5年度実施予定事業・目標等	
・定期点検の継続実施、漏水箇所等の修繕工事の実施。	
令和6年度末に目標とする状態、数値等	
・定期点検の継続実施、漏水箇所等の修繕工事の適宜実施。	

③電柱倒壊の防止を目的とした無電柱化推進【福岡県北九州県土整備事務所】	
●物資を供給するルートである緊急輸送道路が機能不全とならないよう、道路の維持管理や補修だけでなく、電柱倒壊の防止として無電柱化を進める必要がある。	
令和4年度の状況等	
・未定。	



③電柱倒壊の防止を目的とした無電柱化推進【福岡県北九州県土整備事務所】	
●物資を供給するルートである緊急輸送道路が機能不全とならないよう、道路の維持管理や補修だけでなく、電柱倒壊の防止として無電柱化を推進する。	
令和5年度実施予定事業・目標等	
・未定。	
令和6年度末に目標とする状態、数値等	
・未定。	

脆弱性の分析・評価、課題の検討
④非常用食料などの防災倉庫備蓄品の入替整備【危機管理課】 KPI事業
●非常用食料、飲料水、生活必需品などの防災倉庫備蓄品の入替整備を計画通り毎年度行う必要がある。
令和4年度の状況等
・防災備蓄品の入れ替えを実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）
④非常用食料などの防災倉庫備蓄品の入替整備【危機管理課】 KPI事業
●非常用食料、飲料水、生活必需品などの防災倉庫備蓄品の入替整備を毎年度実施する。
令和5年度実施予定事業・目標等
・引き続き、避難所備蓄品の入替を行う。
令和6年度末に目標とする状態、数値等
・地域防災計画に記載の配備表100%

⑤民間業者との物資供給の協定締結の推進【危機管理課】 KPI事業
●市の備蓄物資が不足することに備え、民間業者との物資供給の協定締結を進める必要がある。
令和4年度の状況等
・新たにビバホームと防災物資の供給に関する協定を締結した。 ・企業と防災物資の供給に関する協定に基づく体制の維持（14企業）。



⑤民間業者との物資供給の協定締結の推進【危機管理課】 KPI事業
●市の備蓄物資が不足することに備え、民間業者との物資供給の協定締結を進める。
令和5年度実施予定事業・目標等
・物資の供給に関する協定に基づく相互の連絡先確認等を行い、災害発生時に協定に基づく物資供給が実施可能な体制を整える。 ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。
令和6年度末に目標とする状態、数値等
・物資の供給に関する協定に基づく相互の連絡先確認等を行い、災害発生時に協定に基づく物資供給が実施可能な体制を整える。 ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。

⑥受援計画対応のための市職員防災訓練等の実施【危機管理課】 KPI事業
●市職員が災害時受援計画に従った行動がとれるよう、定期的に防災訓練等を実施する必要がある。
令和4年度の状況等
・職員を対象とした防災研修で、受援計画の説明を実施。



⑥受援計画対応のための市職員防災訓練等の実施【危機管理課】 KPI事業
●市職員が災害時受援計画に従った行動がとれるよう、定期的に防災訓練等を実施する。
令和5年度実施予定事業・目標等
・引き続き、職員研修や訓練において計画の説明を実施する。
令和6年度末に目標とする状態、数値等
・年1回、職員研修での啓発。 ・年1回、図上訓練での啓発。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①関係機関等との連携による交通手段の確保【元気な島づくり課】

●災害時、大島や地島が孤立しないよう、島内のネットワーク整備や関係機関（消防、運輸局等）との連携による交通手段の確保が必要である。

令和4年度の状況等

・令和3年度同様、タクシー、レンタカー事業者やコミュニティ運営協議会、消防団との連携のほか、地域の相互扶助により交通手段を確保している。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①関係機関等との連携による交通手段の確保【元気な島づくり課】

●災害時、大島や地島が孤立しないよう、島内のネットワーク整備や関係機関（消防、運輸局等）との連携による交通手段の確保を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

・タクシー、レンタカー事業者、コミュニティ運営協議会、消防団、漁協、遊漁船事業者、地域の相互扶助など、多種多様な交通手段確保方法を維持する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・現状に加え、他の輸送手段による輸送方法を確立する。

②自主防災組織の活動促進、防災リーダーの確保・育成

【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●自助・共助による地域防災の推進のため、自主防災組織の活動促進や防災士を活用した地域防災リーダー確保育成等を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・防災士を含む地域住民を対象とした防災講座を実施した。
・自主防災組織長会議において、地区防災計画の概要説明と吉武地区の地区防災計画策定状況の報告を行った。



②自主防災組織の活動促進、防災リーダーの確保・育成

【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●自助・共助による地域防災を推進するため、自主防災組織の活動促進や防災リーダーの確保育成を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・引き続き、自主防災組織の活動促進を目的として、防災士フォローアップ講座と防災リーダー講座、自主防災組織に関する事例紹介等を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・各コミュニティ運営協議会に1名以上の防災士を確保する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①監視カメラの設置による渋滞情報や被害状況の把握等【危機管理課】KPI事業

●災害時、幹線道路の渋滞情報や被害状況を把握するため、監視カメラの設置を進めることで、救助活動の推進に努める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・浸水検知システムを導入した。
- ・水位監視カメラについて、関係機関に情報を提供するとともに、職員研修を実施し、周知を図った。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①監視カメラの設置による渋滞情報や被害状況の把握等【危機管理課】KPI事業

●監視カメラの設置を進めることで、災害時の幹線道路の渋滞情報や被害状況を把握し、救助活動の推進に努める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・水位監視カメラ及び浸水検知システムについて、関係機関及び職員へ更なる周知を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・水位監視カメラ3台、浸水検知システム5台の確保。

②消防団員の確保、消防団協力事業所の啓発【危機管理課】KPI事業

●消防団員の確保のため、積極的に働きかけを行うことや、消防団協力事業所の啓発を行うことが必要である。

令和4年度の状況等

- ・市広報紙、市ホームページで消防団活動の啓発を実施。
- ・秋季夜警出発式と出初式を商業施設で実施し、来場者に消防活動の周知を行った。
- ・消防団員定数充足率 86.3%



②消防団員の確保、消防団協力事業所の啓発【危機管理課】KPI事業

●消防団員の確保のため、広報等を通じて積極的に働きかけを行うことや、消防団協力事業所の啓発を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、市広報紙やホームページにより消防団活動の啓発を行うとともに、商工会や観光協会等の団体に対して、働きかけを行う。
- ・消防団員定数充足率 93%

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・消防団員定数充足率 100%

③消防団格納庫の耐震化、車両整備の推進【危機管理課】KPI事業

●消防団が速やかに稼働できるよう、消防団格納庫の移設及び耐震化、車両の整備を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・消防ポンプ車配備計画に基づき、分団の車両を更新（1台）。
- ・計画整備率 100%



③消防団格納庫の耐震化、車両整備の推進【危機管理課】KPI事業

●いかなる災害時にも消防団が稼働できるよう、アセットマネジメント計画に基づいて消防団格納庫の移設及び耐震化を図るとともに、併せて車両の整備を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、アセットマネジメント計画及び消防ポンプ車配備計画に基づき、整備を進める。
- ・計画整備率 100%

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・各種計画整備率 100%

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④自主防災組織、警察・消防等との連携訓練の実施【危機管理課】KPI事業

●自助・共助による地域防災の推進のため、自主防災組織の活動促進や防災リーダーの確保育成を進める必要がある。併せて、警察・消防・自衛隊等の関係機関と地域が連携した定期的な訓練の実施が必要である。

令和4年度の状況等

- ・水害対応訓練 5月28日実施 (大島地区)
- ・総合防災訓練 9月11日実施 (赤間西地区)
- ・図上訓練 2月7日実施 (宗像ユリックス) *市役所庁舎が機能停止で使用できない想定で宗像ユリックスに災害対策本部を設置する訓練を実施。



リスクへの対応方策の検討 (推進方針)

④自主防災組織、警察・消防等との連携訓練の実施【危機管理課】KPI事業

●自主防災組織の活動促進や防災リーダーの確保育成を進める。併せて、警察・消防・自衛隊等の関係機関と地域が連携した訓練の実施を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、関係機関と連携した訓練を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年に1回以上、関係機関と地域が連携した訓練の実施。

⑤派遣医療チームの受入体制の整備【健康課、危機管理課】

●災害拠点病院である宗像水光会総合病院において、救命救急活動を行えるよう災害派遣医療チーム (DMAT) 等の受入体制を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・防災連携会議や総合防災訓練にて、宗像水光会総合病院との防災連携に努めた。
- ・総合防災訓練で、DMAT受入訓練を実施した。



⑤派遣医療チームの受入体制の整備【健康課、危機管理課】

●災害拠点病院である宗像水光会総合病院において、救命救急活動を行えるよう災害派遣医療チーム (DMAT) 等の受入体制を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、総合防災訓練への参加を呼びかけ、防災対策事業の連携に努める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・DMAT等の受入体制の構築を行う。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①帰宅困難者への一時避難所の提供【危機管理課】KPI事業

●帰宅困難者が一時的に避難できる一時避難所の提供について、市内の企業との協定締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・玄界環境組合、宗像地区事務組合を含む14の企業等と一時避難所に関する協定を締結。



リスクへの対応方策の検討 (推進方針)

①帰宅困難者への一時避難所の提供【危機管理課】KPI事業

●帰宅困難者が一時的に避難できる一時避難所の提供を行うため、市内の企業との協定締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・協定に基づく相互の連絡先や住民受け入れ方法、災害発生時の市からの連絡方法等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく一時避難が実施可能な体制を整える。
- ・一時避難の方法等について、市民向けの説明会を実施する。
- ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・協定に基づく相互の連絡先や住民受け入れ方法、災害発生時の市からの連絡方法等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく一時避難が実施可能な体制を整える。
- ・一時避難の方法等について、市民向けの説明会を実施する。
- ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① 応急医療を行うための関係機関との連携の強化 【健康課】

● 災害時、医療従事者による応急医療を行うため、関係機関（病院、医師会等）との連携を強化する必要がある。

令和4年度の状況等

・ 平常時から、宗像医師会等関係機関との連携・協力関係を保っている。

② 避難者の健康管理を行うための体制の整備 【健康課】

● 避難所にて、市保健師による避難者の健康管理を実施する体制を整備する必要がある。

令和4年度の状況等

・ 保健師班の構成などマニュアルの見直しを行い、班に属する保健師および所属課で内容を共有した。

③ 製薬会社等との協定締結の推進 【危機管理課】 KPI事業

● 災害時、医薬品等の物資を確保する必要があるため、製薬会社等との協定締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・ 製薬会社と薬局（大塚製薬株式会社、株式会社新生堂薬局）と物資供給の協定を締結している。

④ ドクターヘリ等による広域移送体制の整備 【元気な島づくり課、危機管理課】

● 海上タクシー等、あらゆる移動手段を検討し、重症患者の広域移送体制を進める必要がある。

令和4年度の状況等

【元気な島づくり課】
 ・ 海上タクシーや漁協所有船のほか、遊漁船事業者による搬送も行われている。
 【危機管理課】
 ・ 池友会、消防本部、自衛隊、海上保安庁との連携を図り、移送体制について協議を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① 応急医療を行うための関係機関との連携の強化 【健康課】

● 災害時、医療従事者による応急医療を行うため、関係機関（病院、医師会等）との連携を強化する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 引き続き、関係機関と連携を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 関係機関との連携の維持・強化。

② 避難者の健康管理を行うための体制の整備 【健康課】

● 避難所にて、市保健師による避難者の健康管理を行う体制を整備する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 適宜、マニュアルの見直しと市保健師間での共有を行い、体制を維持・継続する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 体制の維持・継続。

③ 製薬会社等との協定締結の推進 【危機管理課】 KPI事業

● 災害時、医薬品等の物資を円滑に受け取る必要があるため、製薬会社等との協定締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 協定に基づく相互の連絡先等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく物資供給が実施可能な体制を整える。宗像市への新規参入企業が生まれた場合、協定締結の相談を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 協定に基づく相互の連絡先等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく物資供給が実施可能な体制を整える。宗像市への新規参入企業が生まれた場合、協定締結の相談を行う。

④ ドクターヘリ等による広域移送体制の整備 【元気な島づくり課、危機管理課】

● 海上タクシー等、あらゆる移動手段を検討し、重症患者の広域移送体制を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

【元気な島づくり課】
 ・ 現在の体制を維持するとともに、漁船所有者による搬送について検討する。
 【危機管理課】
 ・ 引き続き、関係機関との連携を図り、広域避難体制の構築に努める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

【元気な島づくり課】
 ・ 現状に加え、他の移動手段による搬送体制を確立する。
 【危機管理課】
 ・ 地域防災計画に定める緊急輸送ルート確保を行う。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① 県との連携強化、平常時からの感染症予防対策の推進【健康課】

● 避難所での感染症拡大を防ぐため、県との連携を強化し、平常時から感染症予防対策を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 県及び危機管理課と連携し、避難所での新型コロナウイルス感染症拡大防止策を協議し体制を整えた。
- ・ 感染症予防対策について広報紙等で啓発を行った。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① 県との連携強化、平常時からの感染症予防対策の推進【健康課】

● 避難所での感染症拡大を防ぐため、県との連携を強化し、平常時から感染症予防対策を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 引き続き、県及び危機管理課と連携し、避難所での感染症予防対策の体制を維持するとともに、日頃から感染症予防に関する市民への啓発を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 県や危機管理課との連携による感染症予防対策の体制を維持継続。

② 平常時からの広報等を通じた予防接種の啓発【健康課、子ども家庭センター】

● 有事の際の集団感染を抑えるため、予防接種が可能な疾病は、平常時から予防接種の促進を図る必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 予防接種法に基づく定期予防接種及び接種勧奨を実施。また、任意予防接種についても市民のニーズや必要性を考慮しながら接種を推進。



② 平常時からの広報等を通じた予防接種の啓発【健康課、子ども家庭センター】

● 予防接種が可能な疾病は、平常時から広報等を通じて予防接種の啓発を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 予防接種法に基づく定期予防接種及び接種勧奨を実施する。また、任意予防接種についても市民のニーズや必要性を考慮しながら接種の推進を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 予防接種法に基づく定期予防接種や、任意予防接種を継続して適正に実施することにより疾病のまん延防止等に努める。

③ 体調不良者専用の避難所開設、集団感染の予防【危機管理課】 KPI事業

● 感染症拡大防止として、避難所を開設する際は、体調不良者専用の避難所を開設する等、集団感染の予防に努める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 感染症対策に努め、専用の避難所(宗像市役所)を開設した。
- ・ 指定避難所において、体調不良者専用スペースの確保を行った。



③ 体調不良者専用の避難所開設、集団感染の予防【危機管理課】 KPI事業

● 感染症が終息されないなか避難所を開設となった場合は、体調不良者専用の避難所を開設する等、集団感染の予防に努める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 引き続き、感染症対策に努め、専用の避難所を開設する。併せて、指定避難所においても、体調不良者専用スペースの確保を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 1施設以上の感染症対策を目的とした避難所の開設を行う。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④ 自主防災組織への自主訓練の実施 【健康課、危機管理課】 KPI事業

- 県と連携して、陽性者等が最寄りの避難所に避難しないよう、連携の強化を図る必要がある。

令和4年度の状況等

- 【健康課】
- ・ 避難所運営マニュアルに従った避難所開設訓練を実施した。各地区の避難所開設と同時期に、体調不良者専用の避難所を設けた。
 - ・ 体調不良者専用避難所の開設と共に、保健師が利用者への対応を行える体制を整えた。
- 【危機管理課】
- ・ 体調不良者専用の避難所(宗像市役所)を設けるとともに、啓発チラシを全戸配布して体調不良者専用避難所の周知を行った。
 - ・ 避難所開設時、緊急情報伝達システムを用いて体調不良者専用避難所の周知を行った。



リスクへの対応方策の検討 (推進方針)

④ 自主防災組織への自主訓練の実施 【健康課、危機管理課】 KPI事業

- 避難所運営マニュアル(感染症対策版)に従った避難所運営ができるよう、自主防災組織への自主訓練を実施する等、啓発を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- 【健康課】
- ・ マニュアルに沿って、体調不良者専用の避難所利用者への対応を行う。
- 【危機管理課】
- ・ 体調不良者専用の避難所を設けるとともに、啓発チラシを全戸配布して体調不良者専用避難所の周知を行う。
 - ・ 避難所開設時、緊急情報伝達システムを用いて体調不良者専用避難所の周知を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- 【健康課】
- ・ 県など関係機関と連携し、適時体制・対応の見直しをしながら、体調不良者への対応を行う・年1回以上、避難所開設訓練を実施する。
- 【危機管理課】
- ・ 年1回以上、避難所運営マニュアルの説明会を実施する。

⑤ 県との連携の強化 【健康課、危機管理課】 KPI事業

- 避難所運営マニュアル(感染症対策版)に従った適切な避難所運営ができるよう、自主防災組織への啓発を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 陽性者や濃厚接触者への連絡は、県(保健所)と連携して対応した。



⑤ 県との連携の強化 【健康課、危機管理課】 KPI事業

- 感染症が終息されないなか避難所を開設するとなった場合は、県と連携して、陽性者等が最寄りの避難所に避難しないよう、連携の強化を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 引き続き、出水期前までに県(保健所)と協議を実施し、感染者の避難誘導についての連携を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 1施設以上の感染症対策避難所を開設するとともに、陽性者等への対応については保健所との連携を図る。

脆弱性の分析・評価、課題の検討	
①避難所となっている公共施設の環境の整備【財政課、危機管理課】	KPI事業
●避難所となっている公共施設の衛生環境を保全するため、平常時から環境整備に関する対策を講じる必要がある。	
令和4年度の状況等	
・施設管理者との定期的な協議を実施した。	



リスクへの対応方策の検討（推進方針）	
①避難所となっている公共施設の環境の整備【財政課、危機管理課】	KPI事業
●避難所となっている公共施設の衛生環境を保全するため、平常時から環境整備に関する対策を講じる。	
令和5年度実施予定事業・目標等	
・避難所となる施設管理者に対して、出水期前までに施設管理の打ち合わせを実施する。併せて、避難所の衛生を保つため、トイレや簡易ベッド等の防災備蓄品の整備を進める。	
令和6年度末に目標とする状態、数値等	
・民間施設の避難所については、年に1回以上、施設管理者との協議を実施する。	

②保健師による巡回体制構築、健康状態の把握【健康課】	
●災害時、避難所において避難者の健康管理を行うため、保健師が迅速かつ適切に動ける体制を事前に構築する必要がある。	
令和4年度の状況等	
・保健師班を構成し、マニュアルをもとに避難所の巡回、避難者の健康状態の把握及び他部署との連携により、必要な支援を行った。	



②保健師による巡回体制構築、健康状態の把握【健康課】	
●災害時、避難所において避難者の健康管理を行うため、保健師による巡回体制を構築するとともに、健康管理チェックシートによる健康状態の把握を進める。	
令和5年度実施予定事業・目標等	
・実施体制を維持・継続する。	
令和6年度末に目標とする状態、数値等	
・体制の維持・継続。	

③要配慮者の専用ブースの設置、状況に応じた対応【危機管理課】		KPI事業
●避難生活時に特段の配慮が必要な人については、専用のブースを設ける等、状況に応じた対応が必要である。		
令和4年度の状況等		
・避難所運営マニュアルに基づき避難所開設訓練と避難所運営訓練を実施した。 ・福祉避難所開設の協定に基づき、災害発生時に開設の可否確認を実施した。		



③要配慮者の専用ブースの設置、状況に応じた対応【危機管理課】		KPI事業
●避難生活時に特段の配慮が必要な人については、専用のブースを設ける等、状況に応じた対応を図る。		
令和5年度実施予定事業・目標等		
・避難所運営マニュアルに従った避難所開設訓練の実施。 ・新規福祉施設が宗像市へ参入した際に避難所開設の協定締結の相談を行う。		
令和6年度末に目標とする状態、数値等		
・年1回以上、市職員に対して避難所開設訓練を実施する。 ・新規福祉施設が宗像市へ参入した際に避難所開設の協定締結の相談を行う。		

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④民間企業の福祉避難所指定の推進【危機管理課】 KPI事業

●民間企業の施設について福祉避難所の指定を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・20の民間企業等と締結している福祉避難所開設の協定に基づき、災害発生時に開設の可否確認を行った。
(令和3年度に1企業が廃業したため、1減)



リスクへの対応方策の検討(推進方針)

④民間企業の福祉避難所指定の推進【危機管理課】 KPI事業

●設備が整った福祉避難所の開設を進めるため、民間企業の施設について福祉避難所の指定を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・協定に基づく相互の連絡先等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく一時避難の可否等の確認を行う。
・新規福祉施設が宗像市へ参入した際に避難所開設の協定締結の相談を行う。
・福祉避難所開設方法について、より多くの希望する方が避難できる方法を検討する。
・福祉避難所運営マニュアルの内容検討を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・福祉避難所運営マニュアルの策定を行う。

⑤災害関連死を防ぐための避難所内の衛生管理の推進【危機管理課】 KPI事業

●災害による負傷の悪化や避難生活において、心身的な負担による災害関連死を防ぐため、避難所内の衛生管理を推進する必要がある。

令和4年度の状況等

・防災倉庫内衛生用品の整備状況の調査。



⑤災害関連死を防ぐための避難所内の衛生管理の推進【危機管理課】 KPI事業

●心身的な負担による災害関連死を防ぐため、避難所内の衛生管理を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・引き続き、避難所運営に必要な衛生用品の備蓄を進めるとともに、物資供給の協定締結を進める。
・防災倉庫内衛生用品の購入。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・各避難所の収容人数に見合う衛生用品を備蓄する。
・地域防災計画上の防災備蓄品整備率を100%とする。

3 必要不可欠な行政機能を確保する。

3-1 行政機関の職員・施設の被災、関係機関間の連携・支援体制の不備による行政機能の大幅な低下 (1 / 3)

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①市役所本庁舎やその他の公共施設の長寿命化の推進【財政課 他】

- 防災拠点となる市役所本庁舎やその他の公共施設においては、宗像市アセットマネジメント推進計画に基づき、長寿命化対策を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・本庁舎の空調機更新工事と照明LED化工事を実施中、年度末までに完了予定。



リスクへの対応方針の検討 (推進方針)

①市役所本庁舎やその他の公共施設の長寿命化の推進【財政課 他】

- 防災拠点となる市役所本庁舎やその他の公共施設においては、宗像市アセットマネジメント推進計画に基づき、長寿命化を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・令和5年度中旬から令和6年度中旬にかけて、市庁舎南棟建築工事を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・長寿命化対策を進めつつ、災害発生時でも公共施設の安全性が確保できる状態にする。

②非常用電源の整備、バックアップ体制の強化【財政課、危機管理課】

- 災害時に行政機能が低下しないよう、非常用電源の確保に努める等、バックアップ体制の強化を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・市本庁舎に非常用電源を整備。
- ・ユリックスの非常用電源のバッテリー交換を実施。



②非常用電源の整備、バックアップ体制の強化【財政課、危機管理課】

- 災害時に行政機能が低下しないよう、非常用電源の整備を進める等、バックアップ体制の強化を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・市役所本庁舎やユリックス、大島学園等に非常用発電機設備の保守点検委託を実施。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・毎年、非常用発電機の保守点検を実施する。

③災害時の迅速な罹災証明の発行体制づくり【税務課】

- 災害時、迅速に罹災証明を発行できる体制づくりを進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・住家被害認定調査等研修会の積極的参加や、被災地からの支援要請に可能な限り応じ、災害発生時の対応スキルの向上に努めている。
- ・課としての対応はもとより、総務対策班内に周知徹底を図り、災害時に迅速かつ組織的な対応がとれるよう準備している。
- ・年度途中から、平時でも罹災証明書を税務課窓口で受理・発行することとした。申請書等の様式の整理を検討している。



③災害時の迅速な罹災証明の発行体制づくり【税務課】

- 災害時、迅速に罹災証明を発行できる体制づくりを進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・住家被害認定調査等研修会の積極的参加や、被災地からの支援要請に可能な限り応じ、災害発生時の対応スキルの向上を引き続き図る。
- ・総務対策班内に周知徹底を図り、災害時に迅速かつ組織的な対応がとれるよう準備する。
- ・申請書等の様式の整理を検討・実施し、ホームページで市民への周知を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・住家被害認定調査等研修会の積極的参加や、被災地からの支援要請に可能な限り応じ、災害発生時の対応スキルの向上を引き続き図る。
- ・総務対策班内に周知徹底を図り、災害時に迅速かつ組織的な対応レベルを維持・向上に努める。
- ・ホームページで申請書等の市民への周知は継続して行う。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④通信回線の冗長化、予備機の確保【デジタル推進課】

●基幹系ネットワークが機能停止とならないよう、通信回線の冗長化や予備機の確保を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・令和2年度に更新した新基幹系システムについては、昨年度同様、クラウド化し回線の冗長化を行っている。また、リカバリサーバを用意しておりネットワーク回線が被害にあった場合でも証明発行を行うように備えている。
- ・災害時等に備え、セキュリティの高い政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウド上に標準仕様に準拠した基幹系システムへの移行に向けて準備を行っている。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

④通信回線の冗長化、予備機の確保【デジタル推進課】

●基幹系ネットワークが障害による機能停止とならないよう、通信回線の冗長化や予備機の確保を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・災害時等に備え、セキュリティの高い政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウド上に標準仕様に準拠した基幹系システムへの移行に向けて準備を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・災害時等に備え、セキュリティの高い政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウド上に標準仕様に準拠した基幹系システムを令和7年度に構築・移行するための準備を行う。

⑤業務継続計画に基づく行政機能の確保【危機管理課】

●業務継続計画に基づいて、災害時においても行政機能を確保する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・年度初めに市の各部署の業務継続計画の見直しの確認を行い、行政機能の確保に備えている。



⑤業務継続計画に基づく行政機能の確保【危機管理課】

●業務継続計画に基づいて、災害時においても行政機能を確保する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、年度始めに市の各部署に業務継続計画の見直しを依頼し、計画の修正を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・有事の際に冷静に業務継続計画を実行し、行政機能を中断させない。

⑥受援計画、応援協定に基づく受援体制の整備【危機管理課】 KPI事業

●受援計画や応援協定に基づいて、受援体制の整備を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・災害発生時について、Lアラートを通じ、県内市町村との被災状況等の情報共有を行った。
- ・機構改革等に合わせ、受援計画（受援班の組織構成等）の見直しを実施した。



⑥受援計画、応援協定に基づく受援体制の整備【危機管理課】 KPI事業

●受援計画や応援協定に基づいて、受援体制の整備を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・機構改革等に合わせ、受援計画（受援班の組織構成等）の見直しを実施する。
- ・災害発生時等について、関係機関との情報共有などの連携を密に行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年1回以上、受援計画の見直しを実施する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

⑦広域応援協定の締結の推進【危機管理課】

●災害時に本市だけで対応できない状況に備え、広域応援協定の締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・小金井市、松本市と締結した災害時応援協定を継続した。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

⑦広域応援協定の締結の推進【危機管理課】

●災害時に本市だけで対応できない状況に備え、広域応援協定の締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・災害時応援協定に基づき、災害発生時に相互連絡を行った。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・災害時応援協定に基づき、災害発生時に相互連絡を行う。

⑧被災者支援システムの導入の検討【危機管理課】 KPI事業

●災害時、被災者の状況把握及び支援体制の強化を図るため、被災者支援システムの導入検討を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・緊急情報伝達システムを使った配信試験を実施した。



⑧被災者支援システムの導入の検討【危機管理課】 KPI事業

●災害時、被災者の状況把握及び支援体制の強化を図るため、被災者支援システムの導入の検討を進める。
●災害発生時に職員が迅速に参集できるよう、的確な情報の配信と連絡体制の整備を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・被災者支援システムの実用化に向けた関係各課へ操作説明会等を実施する。
・引き続き、緊急情報伝達システムを使った配信試験を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・年1回以上、被災者支援システムの操作研修を実施する。
・年1回以上、緊急情報伝達システムからの配信試験を実施する。

4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する。

4-1 情報通信・放送ネットワークの麻痺・長期停止等による災害・防災情報の伝達不能

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① Lアラート、緊急情報伝達システム等からの発信【危機管理課】 KPI事業

●市民へ確実に情報伝達を行うため、防災行政無線からの発信だけでなく、Lアラートや緊急情報伝達システム等、あらゆる媒体からの発信をする必要がある。

令和4年度の状況等

・市広報紙やホームページへの啓発に加え、災害発生のある場合は、KBCのdボタン配信や市公式LINE及びTwitterでの災害情報や避難情報の配信を実施。

② 広報車やSNS、LINE等を活用した情報伝達の多重化

【秘書政策課、危機管理課】

●システムからの情報配信だけでなく、広報車やSNS、LINE等を活用し、情報伝達の多様化を図る必要がある。

令和4年度の状況等

・LINEシステム、dボタン広報誌システムの利用を継続する。

③ 災害版GISを活用した情報取得の仕組みの整備【危機管理課】 KPI事業

●災害版GISを活用して、関係機関や市民が災害時に必要な情報を自ら取得できる仕組みを整備する必要がある。

令和4年度の状況等

・防災講座等で、自主防災組織に対して防災情報ダッシュボードの啓発を行った。
・関係機関に防災情報ダッシュボードの操作説明会を行った。

④ 避難所のWi-Fi環境の整備【デジタル推進課、危機管理課】

●避難所におけるインターネット回線による情報伝達手段確保のため、避難所スペースで利用できるWi-Fi環境を整備する。

令和4年度の状況等

・平成26年度に導入した第一期整備分のWi-Fi環境の更新を行った。
・宗像市立学校において、避難所として開設した際に、ファイブゼロジャパン（災害時公衆無線LANサービス）を活用し、避難所スペースでWi-Fiを活用した。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① Lアラート、緊急情報伝達システム等からの発信【危機管理課】 KPI事業

●市民へ確実に情報伝達を行うため、防災行政無線からの発信だけでなく、Lアラートや緊急情報伝達システム等、あらゆる媒体からの発信に努める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・防災行政無線保守の実施や総合防災訓練時に緊急情報伝達システムを使ったエリアメール配信試験を実施する。
・福岡県と連携してLアラート配信のテストを実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・年1回以上、緊急情報伝達システム及びLアラートの配信試験を実施する。

② 広報車やSNS、LINE等を活用した情報伝達の多重化

【秘書政策課、危機管理課】

●システムからの情報配信だけでなく、広報車やSNS、LINE等を活用し、情報伝達の多様化を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

・LINEシステム、dボタン広報誌システムの利用を継続する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・情報伝達の多様化を通じて緊急情報が誰にでも届く状態を確保する。

③ 災害版GISを活用した情報取得の仕組みの整備【危機管理課】 KPI事業

●市と自主防災組織や消防団が連携を図ることで、災害版GISを活用して、各自で必要な情報を自らが取得できる仕組みの整備を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

・自主防災組織に対して防災情報ダッシュボードの啓発を行う。
・関係機関に対して、操作説明会を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・年2回以上、防災情報ダッシュボードの啓発を行う。
・毎年、出水期前までに関係機関に操作説明会を実施する。

④ 避難所のWi-Fi環境の整備【デジタル推進課、危機管理課】

●避難所におけるインターネット回線による情報伝達手段を確保するため、避難所スペースで利用できるWi-Fi環境を整備する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・更新計画をもとに避難所におけるWi-Fi環境の運用管理を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・更新計画をもとに避難所におけるWi-Fi環境の運用管理を行う。

5 ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる。

5-1 上水道等の長期にわたる供給停止

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①上水道等の長期にわたる供給停止【宗像地区事務組合】

●災害発生時、速やかに水道施設を復旧する必要がある。

令和4年度の状況等

・災害発生時は北九州市上下水道局と連携をとり、迅速に対応する。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①上水道等の長期にわたる供給停止【宗像地区事務組合】

●北九州市上下水道局との協定に基づき、速やかに水道施設を復旧するよう努める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・災害発生時は北九州市上下水道局と連携をとり、迅速に対応する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続

②水道施設の耐震化の推進【宗像地区事務組合】

●災害時における、可能な限りの給水ができるよう、水道施設の耐震化を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・耐震管を使用した水道管の整備を実施。



②水道施設の耐震化の推進【宗像地区事務組合】

●災害時においても、可能な限り給水ができるよう、水道施設の耐震化を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・耐震管を使用した水道管整備を継続する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続

③福岡県内の水道企業団等との連携の強化【宗像地区事務組合】

●上水道施設の被害が甚大な場合は、宗像地区事務組合単独での対応が困難なため、福岡県内の水道企業団等との連携を強化する必要がある。

令和4年度の状況等

・福岡県内の水道企業団等との連携している。



③福岡県内の水道企業団等との連携の強化【宗像地区事務組合】

●宗像地区事務組合単独での対応が困難なため、上水道施設の被害が甚大な場合に備え、福岡県内の水道企業団等との連携を強化する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・福岡県内の水道企業団等との連携強化を検討する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・継続

5 - 2 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① 下水道施設の計画的な改修【下水道課】 KPI事業

● 災害時においても、汚水処理施設を維持するため、下水道施設の改修については、計画的に実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 終末処理場の耐震化方針の決定。
- ・ 下水道老朽化施設（マンホールポンプ）の対策の実施。
- ・ 下水道ストックマネジメント実施計画（マンホール蓋）の策定



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① 下水道施設の計画的な改修【下水道課】 KPI事業

● 災害時においても、汚水処理施設を維持するため、下水道施設の改修について計画的に実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 田島汚水中継ポンプ場の耐水化対策の事業化の実施
- ・ 下水道ストックマネジメント実施計画（処理場）の策定。
- ・ 下水道老朽化施設（マンホール蓋、マンホールポンプ）の対策の実施。
- ・ 公共下水道事業計画の見直し。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 田島汚水中継ポンプ場の耐水化対策の実施。
- ・ 下水道ストックマネジメント計画事業の対策実施。

② 下水道BCP改定の適宜実施【下水道課】

● 災害時に汚水処理施設が機能不全とならないよう、下水道BCPの改定を適宜行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 現、下水道BCPを確認した。



② 下水道BCP改定の適宜実施【下水道課】

● 災害時に汚水処理施設が機能不全とならないよう、下水道BCPの改定を適宜行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 発生災害状況に応じて、適宜改定を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 継続

③ 関係機関との連携協定の締結の推進【危機管理課】 KPI事業

● 災害時、緊急対応が必要な場合に備えて、関係機関との連携協定締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 九州地方整備局や消防等と災害時の応援協定を締結。
- ・ 関係機関と連携した総合防災訓練の実施。



③ 関係機関との連携協定の締結の推進【危機管理課】 KPI事業

● 災害時、緊急対応が必要な場合に備えて、関係機関との連携協定締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 協定に基づき、平常時から防災に関する情報交換等を実施し、有事の際の円滑な応援の実施体制の構築を図る。
- ・ 関係機関と連携し、総合防災訓練を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 年1回、総合防災訓練時に関係機関との連携訓練を実施する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①道路や橋梁等、既存施設の点検調査の推進
【維持管理課、施設整備課】 KPI事業

●災害時に物資輸送ルートを確認するため、道路や橋梁等、既存施設の補修を行い健全度を保つ必要がある。

令和4年度の状況等

- 【維持管理課】
・幹線道路の舗装の更新（4箇所）や側溝等の道路施設の補修（260箇所（工事119箇所、修繕141箇所））を実施。
- 【施設整備課】
・橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁補修設計（4橋）と橋梁補修工事（3橋）を実施。また法定点検として橋梁点検（114橋）を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①道路や橋梁等、既存施設の点検調査の推進【維持管理課、施設整備課】

●災害時に物資輸送ルートを確認するため、道路や橋梁等、既存施設の点検調査を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- 【維持管理課】
・道路等修繕（150箇所）、道路側溝清掃委託（20箇所）、舗装長寿命化計画策定業務委託、舗装整備、側溝整備、局部改良 他
- 【施設整備課】
・橋梁補修工事（3橋）、橋梁補修設計（3橋）、橋梁点検（147橋）、計画策定（1業務）を実施予定。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- 【維持管理課】
・令和4年度に再策定する長寿命化計画に沿って効果的な維持工事等を行い、適切な維持管理を進める。
- 【施設整備課】
・令和4年度に再策定する橋梁長寿命化計画に沿って効果的な補修工事等を行い、適切な維持管理を進める。

②急傾斜地の崩壊や落石を防止するための整備の推進
【維持管理課、福岡県北九州市土整備事務所】

●災害時における道路の安全性を向上させるため、急傾斜地の崩壊や落石を防ぐための整備を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・急傾斜地の崩壊や落石がないか随時巡視を行った。



②急傾斜地の崩壊や落石を防止するための整備の推進
【維持管理課、福岡県北九州市土整備事務所】

●災害時における道路の安全性を向上させるため、急傾斜地の崩壊や落石を防ぐための整備を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引続き急傾斜地の崩壊や落石がないか随時巡視を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・引続き急傾斜地の崩壊や落石がないか随時巡視を行う。

③代替交通手段にかかる関係機関との連携の推進【都市再生課】

●大規模災害時の鉄道不通に備え、代替交通手段について関係機関との連携を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・九州旅客鉄道株式会社に早期開通を速やかに要請できるよう日頃から連携を図った。



③代替交通手段にかかる関係機関との連携の推進【都市再生課】

●大規模災害時の鉄道不通に備え、代替交通手段について関係機関との連携を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・九州旅客鉄道株式会社に早期開通を速やかに要請できるよう連携を進める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・早期開通の速やかな要請。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④緊急輸送道路の改良整備の推進 【福岡県北九州県土整備事務所】

●大規模災害時の道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路の改良整備を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・事業中 (1箇所)



リスクへの対応方策の検討 (推進方針)

④緊急輸送道路の改良整備の推進 【福岡県北九州県土整備事務所】

●大規模災害時の道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路の改良整備を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・事業箇所 (1箇所)

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・事業箇所 (1箇所)

⑤緊急輸送道路等の無電柱化の取組の推進 【福岡県北九州県土整備事務所】

●道路の防災上の向上、安全で快適な通行空間の確保の観点から、特に緊急輸送道路については、電線管理者と協議の上、無電柱化の取り組みを進める必要がある。

令和4年度の状況等

・未定



⑤緊急輸送道路等の無電柱化の取組の推進 【福岡県北九州県土整備事務所】

●防災上の向上、安全で快適な通行空間の確保の観点から、電線管理者と協議の上、特に緊急輸送道路については、無電柱化の取り組みを進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・未定

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・未定

⑥協定締結による一時滞在施設の活用の推進【危機管理課】 KPI事業

●災害時の帰宅困難者対策として、民間企業と協定締結による一時滞在施設の活用を進める必要がある。

令和4年度の状況等

・14の企業等と一時避難所に関する協定を締結 (玄界環境組合・宗像地区事務組合を含む)。



⑥協定締結による一時滞在施設の活用の推進【危機管理課】 KPI事業

●災害時、帰宅困難者対策として、民間企業と協定締結による一時滞在施設の活用を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・協定に基づき、各施設における状況確認等を行い、当年度について一時避難所として活用可能かの確認を図る。
・新規福祉施設が宗像市へ参入した際に避難所開設の協定締結の相談を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・毎年、協定に基づき、各施設における状況確認等を行い、当年度について一時避難所として活用可能かの確認を図る。
・新規福祉施設が宗像市へ参入した際に避難所開設の協定締結の相談を行う。

6 経済活動を機能不全に陥らせない。

6-1 サプライチェーンの寸断による経済活動の機能不全

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①業務継続計画策定の必要性や策定方法等の周知等【産業政策課】

- 宗像市商工会等と連携し、市内事業者に対し、業務継続計画策定の必要性や策定方法等の周知を図る。また、災害発生時には、被災商工業者の事業の再開・継続を総合的に支援する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・宗像市商工会等と連携し、事業継続計画（BCP）の基礎や必要性、策定のポイントを周知するためのセミナーを開催。その他、個別企業の「事業継続力強化計画」の策定支援を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①業務継続計画策定の必要性や策定方法等の周知等【産業政策課】

- 宗像市商工会等と連携し、市内事業者に対し、業務継続計画策定の必要性や策定方法等の周知を図る。また、災害発生時には、被災商工業者の事業の再開・継続を総合的に支援する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・令和4年度に引き続き、宗像市商工会等と連携し、BCP計画の必要性を周知するためのセミナーを開催予定。また、個別企業の「事業継続力強化計画」の策定支援も引き続き実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・市内事業者の業務継続計画策定の必要性や策定方法等に対する認知度の向上。
- ・市内事業者の『事業継続力強化計画』の認定を受ける事業者数増加。

②電力会社等との連携協定の締結の推進【危機管理課】 KPI事業

- エネルギー供給の復旧のため、電力会社等との連携協定締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・九州電力と締結している防災連携協定に基づき、被災状況の相互確認等を実施した。



②電力会社等との連携協定の締結の推進【危機管理課】 KPI事業

- エネルギー供給の復旧のため、電力会社等との連携協定締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、九州電力と更なる連携を図るため、総合防災訓練の参画や防災対策事業の連携を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年1回以上、九州電力と連携した訓練を実施する。

6-2 食料等の安定供給の停滞

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①生鮮品等の確保のための連携の強化【農業振興課、水産振興課 他】

●災害時の生鮮品等の確保については、農業・水産業団体等との連携を強化する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・宗像農協のほか、食料品を取扱う大型スーパー3社と物資の供給に関する協定を締結し、災害発生時には物資の供給要請を行える体制を整えている。また、日頃から事業推進にあたって適宜連携している。
- ・宗像漁業協同組合と適宜連絡を行い、協力関係は構築できており、高度衛生管理型荷さばき所における管理運営計画を策定し、安定した水産物の提供が行えるよう協議を行う。

②漁港の耐震化の推進、機能保全対策【水産振興課】 KPI事業

●災害時に水産物の流通を滞らせないため、各漁港の外郭施設や主要な岸壁等の耐震化を進めるとともに、併せて既存施設の点検を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・神湊漁港耐震機能診断、鐘崎漁港浚渫工事、地島漁港照明灯設置及びLED化工事、神湊漁港灯浮標取替工事等を実施し漁港の機能保全を図った。

③水産物関連施設の整備、業務継続計画の策定の推進【水産振興課】 KPI事業

●水産物の流通拠点である鐘崎漁港の漁業活動及び水産物の流通の停滞を防ぐため、水揚げの重要な施設である高度衛生管理型荷捌き所やその他関連施設の整備及び業務継続計画の策定を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・令和4年7月に高度衛生管理型荷捌所完成。
- ・業務継続計画については、策定中、令和5年2月完了予定。
- ・鐘崎漁港物揚場機能保全測量設計、鐘崎漁港荷さばき所建築工事施工監理、荷さばき所建築工事、新荷さばき所選別台購入、南護岸防風柵設置工事を実施した。

④市備蓄物資の確保、協定締結の推進【危機管理課】 KPI事業

●市備蓄物資の確保を進めるとともに、民間企業との物資の協定締結を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・年間1回、防災倉庫の備蓄品入れ替えを実施。
- ・民間企業と物資の供給協定を締結。

リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①生鮮品等の確保のための連携の強化【農業振興課、水産振興課 他】

●災害発生時は生鮮品等の確保が必要なため、農業団体等との連携を強化する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き協定を継続し、災害時の備えを行うとともに、有事の際に連携できるように日頃からコミュニケーションを図る。
- ・高度衛生管理型荷さばき所供用開始に伴い、安定した水産物の提供を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・災害発生時に物資の供給がスムーズに行われるよう、協定を継続する。
- ・災害時、水産物の供給が滞らないよう、宗像漁業協同組合と連携体制を構築する。

②漁港の耐震化の推進、機能保全対策【水産振興課】 KPI事業

●災害発生に備え、水産物の流通を滞らせないために、各漁港の外郭施設や主要な岸壁等の耐震化を進めるとともに、併せて既存施設の点検を行い、必要であれば修繕・補修等の機能保全対策を実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・神湊漁港耐震機能診断結果をもとに事業計画作成、鐘崎漁港第3物揚場外1施設補修工事、神湊漁港泊地浚渫工事、鐘崎漁港LED化工事、神湊漁港LED化工事、地島漁港照明施設取替・更新工事、鐘崎漁港道路工事

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・神湊漁港耐震機能診断結果に伴い機能保全対策が必要との判定であれば対策を実施。

③水産物関連施設の整備、業務継続計画の策定の推進【水産振興課】 KPI事業

●水産物の流通拠点である鐘崎漁港における、漁業活動及び水産物の流通の停滞を防ぐため、水揚げの重要な施設である高度衛生管理型荷捌き所やその他関連施設の整備及び業務継続計画の策定を推進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・駐車場整備工事
- ・鐘崎漁港耐震耐津波対策工事

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・高度衛生管理型荷捌き所を水産物の流通拠点としての運用を目指す。

④市備蓄物資の確保、協定締結の推進【危機管理課】 KPI事業

●市備蓄物資の確保を進め、民間企業との物資供給の協定締結を進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・引き続き、定期的に防災備蓄品の入れ替えを実施する。
- ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年1回以上、備蓄品の入れ替えを行う。
- ・宗像市への新規参入企業が生じた場合、協定締結の相談を行う。



7 制御不能な二次災害を発生させない。

7-1 ため池等の損壊・機能不全や堆積した土砂等の流出による多数の死傷者の発生

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①ため池の計画的な改修、ため池ハザードマップの作成・公表 【農業振興課】 KPI事業

●防災重点農業用ため池については、決壊時に大きな影響を及ぼす恐れがあることから、ため池の劣化状況評価や地震・豪雨耐性評価の結果を踏まえて、計画的な改修を行うとともに、ため池ハザードマップの作成・公表等により、緊急時における市民の迅速な避難行動に繋げる必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ため池劣化状況評価（22箇所 赤坂池他）
- ・ため池地震耐性評価（5箇所 鐘搗田池他）
- ・県営ため池事業（8箇所）その他ため池改修工事（15箇所）



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①ため池の計画的な改修、ため池ハザードマップの作成・公表 【農業振興課】 KPI事業

●防災重点農業用ため池については、決壊時に大きな影響を及ぼす恐れがあることから、劣化状況評価や地震・豪雨耐性評価の結果を踏まえて、計画的に改修を行うとともに、緊急時に、市民の迅速な避難行動に繋がるよう、ため池ハザードマップの作成・公表等を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ため池劣化状況評価（26箇所）、ため池地震耐性評価（7箇所）
- ・県営ため池事業（5箇所）団体営ため池改修事業（2箇所）、ため池改修工事
- ・ため池劣化状況評価を基にため池管理者との低水管理協議

令和6年度末に目標とする状態、数値等

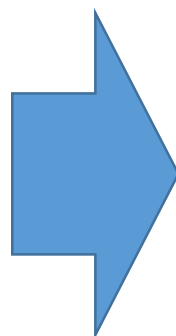
- ・ため池劣化状況評価及びため池地震耐性評価の結果に基づく、ため池改修箇所の決定、改修工事の実施。

②ハザードマップを活用した避難訓練等の実施 【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●堤防の決壊等による洪水被害から身を守るため、自主防災組織が中心となって避難経路の確認やハザードマップを活用して避難訓練等を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・自治会対象の防災講座の実施（10件）。
- ・各種防災訓練の実施。
- ・吉武地区における地区防災計画策定事業の着手。



②ハザードマップを活用した避難訓練等の実施 【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●堤防の決壊等による洪水被害から身を守るため、自主防災組織が中心となって避難経路の確認やハザードマップを活用して避難訓練等を実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・防災士フォローアップ及び防災リーダー研修を通じて、自主防災組織の活動の核となる人材の育成を図る。
- ・引き続き、防災訓練を実施することで避難経路の確認や備蓄品準備の啓発を行う。
- ・今後も地区防災計画の策定を進めることで、地域防災力の向上に努める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・年に1回、防災士フォローアップ及び防災リーダー養成講座の実施。
- ・コミュニティ運営協議会4地区で地区防災計画を策定。

8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。

8-1 災害廃棄物の処理停滞による復旧・復興の大幅な遅れ

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①災害廃棄物処理計画に基づく体制づくりの推進 【環境課】 KPI事業

●大規模災害時は、大量の災害廃棄物が発生することが予想されるため、災害廃棄物処理計画に基づく体制づくりを進める必要がある。

令和4年度の状況等

・大規模災害発生時の初動について、マニュアルの整備について、検討を行った。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①災害廃棄物処理計画に基づく体制づくりの推進 【環境課】 KPI事業

●大規模災害時は、大量の災害廃棄物が発生することが予想されるため、災害廃棄物処理計画に基づく体制づくりを進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・大規模災害発生時の初動について、マニュアルの整備に着手する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・災害発生時にも一般廃棄物処理事業を継続しつつ、災害廃棄物の処理を行う。

②近隣自治体や廃棄物関係団体との協定の締結等

【危機管理課、関連：環境課】 KPI事業

●大規模災害時は、大量の災害廃棄物が発生することが予想されるため、近隣自治体や廃棄物関係団体との協定締結等、連携を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・災害における一般廃棄物の収集運搬に関する協定を締結（有限会社神郡清掃サービス・三孝産業有限会社・玄海クリーン有限会社）。



②近隣自治体や廃棄物関係団体との協定の締結等

【危機管理課、関連：環境課】 KPI事業

●大規模災害時は、大量の災害廃棄物が発生することが予想されるため、近隣自治体や廃棄物関係団体との協定締結等、連携を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・協定に基づき、連絡先や一般廃棄物の収集運搬方法等について、協定締結業者と内容確認を行い、災害発生時における廃棄物の処理体制を整える。
・現状の災害時における災害廃棄物の収集運搬等の有効性の検証方法の検討を行う。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・図上訓練等を行い、現状の災害時廃棄物処理における有効性の検証を実施する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

① 職員の防災知識等を高めるための研修の実施
【危機管理課、関連：人事課】 KPI事業

● 大規模災害時は全職員が災害対応することとなるため、職員の防災知識及び防災意識を高める定期的な防災研修を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 避難所担当職員への説明会を実施。
- ・ 職員に対して防災研修を実施。
- ・ 新規採用職員に防災研修を実施。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

① 職員の防災知識等を高めるための研修の実施
【危機管理課、関連：人事課】 KPI事業

● 大規模災害時は全職員が災害対応することとなるため、職員の防災知識及び防災意識を高めるため、定期的に防災研修を実施する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 引き続き、説明会や研修を実施して職員への防災啓発を進める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 年1回以上、職員へ防災啓発研修を実施する。

② 防災対策に関するボランティアの養成等
【コミュニティ協働推進課、社会福祉協議会】 KPI事業

● 社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置を含め、防災対策に関する活動やボランティアの養成等に取り組む必要がある。

令和4年度の状況等

- 【社会福祉協議会の取り組み】
- ・ 災害ボランティアセンターに関する研修会（宗像市、日赤九州国際看護大合同開催）参加。
 - ・ 災害ボランティアセンター設置訓練をメイトム宗像で2月に実施した。
 - ・ 災害ボランティアに関する市民向け講座を1月に実施した。
 - ・ 県社協災害福祉支援センター並びに市担当課との連携、情報共有。



② 防災対策に関するボランティアの養成等
【コミュニティ協働推進課、社会福祉協議会】 KPI事業

● 社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置を含め、防災対策に関する活動やボランティアの養成等に取り組む。

令和5年度実施予定事業・目標等

- 【社会福祉協議会の取り組み目標等】
- ・ 県社協主催災害ボランティアセンター設置運営訓練実施（宗像、福津、古賀市社協合同）。他関係機関への参加依頼と調整。
 - ・ 県社協災害福祉支援センター並びに市担当課との連携、情報共有。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

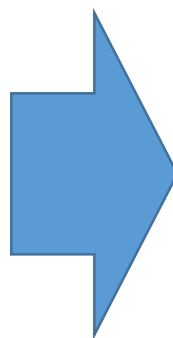
- ・ 関係機関と連携し、継続的な災害ボランティアセンターに関する研修、訓練の実施。
- ・ 県社協災害福祉支援センター並びに市担当課との連携、情報共有。

③ 防災士を活用した地域の防災体制づくりの推進
【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

● 災害時における自主防災組織の防災活動の強化を図るため、これまでに養成した防災士を活用した地域防災リーダー確保育成等、地域の防災体制づくりを進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・ 防災士を含む地域住民を対象とした防災トークショーを実施した。



③ 防災士を活用した地域の防災体制づくりの推進
【危機管理課、関連：コミュニティ協働推進課】 KPI事業

● 災害時に自主防災組織における防災活動の強化を図るため、これまでに養成をした防災士のフォローアップを進める。加えて、防災士を活用した地域の防災体制づくりを進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・ 防災士フォローアップ及び防災リーダー講座を実施し、自主防災組織活動の推進を図り、地域の防災力向上に努める。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・ 年1回以上、地域への防災研修を実施する。

脆弱性の分析・評価、課題の検討

④ 応援協定の締結推進、広域的な応援体制の構築【危機管理課】 KPI事業

● 災害発生に備え、地方自治体等との災害時応援協定を進める等、広域的な応援体制の構築を図る必要がある。

令和4年度の状況等

・ 災害時応援協定に基づき、災害発生時に相互連絡を行った。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

④ 応援協定の締結推進、広域的な応援体制の構築【危機管理課】 KPI事業

● 災害発生に備え、地方自治体等との災害時応援協定を進める等、広域的な応援体制の構築を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 災害時応援協定に基づき、災害発生時に相互連絡を行う。
・ 広域的な応援体制について、拡充の必要性等の検討を図る。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 協定に基づく相互の連絡先等の確認を行い、災害発生時に協定に基づく相互応援の可否等の確認を行う。

⑤ 消防団員の確保、消防団員の訓練等の実施【危機管理課】 KPI事業

● 地域防災の要である消防団員の確保を行うとともに、消防団員の防災力向上に繋がる訓練等を実施する必要がある。

令和4年度の状況等

・ 消防団員個人に対して、階級に応じた各種訓練を実施した。
・ 消防団として各種訓練を実施。



⑤ 消防団員の確保、消防団員の訓練等の実施【危機管理課】 KPI事業

● 地域防災の要である消防団員の確保を行うと共に、消防団員の防災力向上に繋がる訓練等の実施を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・ 引き続き、消防団員への各種訓練を実施。
・ 宗像地区水防訓練（6月）県総合防災訓練（6月）市総合防災訓練、全団員訓練、大島・地島中継訓練、火災防ぎょ訓練、林野防ぎょ訓練、ポンプ操法訓練、機能別消防団員訓練、女性班防災訓練。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・ 消防団員に対して、年間10回以上の訓練を実施する。

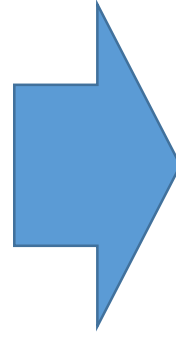
脆弱性の分析・評価、課題の検討

①更なる地域コミュニティ活動の促進【コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●防災対策は日頃のコミュニティ活動の延長であり、地域住民が助け合うことで地域の防災力向上に繋がることから、更なる地域コミュニティ活動の推進を行う必要がある。

令和4年度の状況等

- ・コミュニティ運営協議会役員・各自治会長を対象とした研修において、防災をテーマの一つに取り上げ、事例発表・意見交換等を実施。
- ・モデル地区として、吉武地区の全自治会で地区防災計画を作成。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①更なる地域コミュニティ活動の促進【コミュニティ協働推進課】 KPI事業

●防災対策は日頃のコミュニティ活動の延長であり、地域住民が助け合うことで地域の防災力向上に繋がることから、更なる地域コミュニティ活動を促進する。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・東郷、吉武地区以外の地区の地区防災計画の作成。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・地域の防災力向上に向けて支援を継続する。

②文化財における防災措置の強化等【世界遺産課】 KPI事業

●災害から貴重な文化財、世界遺産構成資産を守るため、防災に関する計画の検討、避難経路の確保、防災設備の更新等、防災措置の強化を進める必要がある。

令和4年度の状況等

- ・指定文化財を中心に所有者等に防災設備の設置を働きかけるとともに、補助事業による防災設備設置や更新、点検等を2件（宗像大社・鎮国寺）進めた。



②文化財における防災措置の強化等【世界遺産課】 KPI事業

●災害から貴重な文化財、世界遺産構成資産を守るため、防災に関する計画の検討、避難経路の確保、防災設備の更新等、文化財における防災措置の強化を図る。

令和5年度実施予定事業・目標等

- ・宗像大社辺津宮本殿他防災設備保守点検事業補助
- ・鎮国寺不動明王立像防災設備保守点検事業補助
- ・防災情報等の周知、広報や文化財防火デー事業の一環として宗像神社境内等での防火訓練を継続して行う。
- ・文化財所有者等連絡会議設立準備

令和6年度末に目標とする状態、数値等

- ・防災設備の設置支援を進めるとともに、文化財の防災情報等について情報共有する場として文化財所有者等連絡会議（仮称）を設立する。

8-3 復旧を支える人材等の不足、復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態 (2 / 2)

脆弱性の分析・評価、課題の検討

③必要な措置が即座にとれる体制づくりの推進【世界遺産課】 KPI事業

●災害により文化財、世界遺産構成資産の毀損滅失が生じた場合、復旧等必要な措置が即座にとれる体制づくりを進める必要がある。

令和4年度の状況等

・未指定等も含めた各種文化財については、現状を把握し、災害時に迅速な対応ができるようリスト作成を進めた。世界遺産構成資産については、国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画で災害時の体制案を検討した。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

③必要な措置が即座にとれる体制づくりの推進【世界遺産課】 KPI事業

●災害によって文化財、世界遺産構成資産の毀損滅失が生じた場合、復旧等必要な措置が即座にとれる体制づくりを進める。

令和5年度実施予定事業・目標等

・各種文化財については、リスト作りを継続する。
 ・世界遺産構成資産については、国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画に基づき、災害時の体制を引き続き検討する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・各種文化財については災害時の迅速な対応に援用できるようリストを完備するとともに、文化財所有者等への防災情報の提供、防災体制の技術協力を継続的に行う。世界遺産については保存活用計画に基づき災害時の体制を構築する。

④文化財防御訓練の実施【危機管理課】 KPI事業

●災害時、文化財を守る体制を迅速にとることができるよう、文化財防火訓練を行う必要がある。

令和4年度の状況等

・宗像大社を火災現場とした文化財防火訓練を実施。



④文化財防御訓練の実施【危機管理課】 KPI事業

●災害時、文化財を守る体制を迅速にとることができるよう、文化財防火訓練を行う。

令和5年度実施予定事業・目標等

・消防本部と連携した文化財防火訓練を実施する。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・年1回以上、文化財関連施設での文化財防火訓練を実施する。

8-4 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態

脆弱性の分析・評価、課題の検討

①庁内関連部署による具体的な行動計画の決定【建築課、関連：危機管理課】

●大規模災害時には、住宅の全壊等によって、住まいの確保が困難な住民が発生することが想定されることから、応急仮設住宅の建築を迅速に行う。

令和4年度の状況等

・応急仮設住宅の建設にあたり、具体的な役割分担や連携方法など協議中である。



リスクへの対応方策の検討（推進方針）

①庁内関連部署による具体的な行動計画の決定【建築課、関連：危機管理課】

●応急仮設住宅の建設にあたっては、庁内の関連部署全体の情報共有と、より詳細で具体的な行動計画を策定する。

令和5年度実施予定事業・目標等

・応急仮設住宅の建設にあたり、庁内での役割分担や連携方法など明確にする。

令和6年度末に目標とする状態、数値等

・災害発生時に早急に応急仮設住宅を建築する。